



The Japanese Breast Cancer Society
since 1992

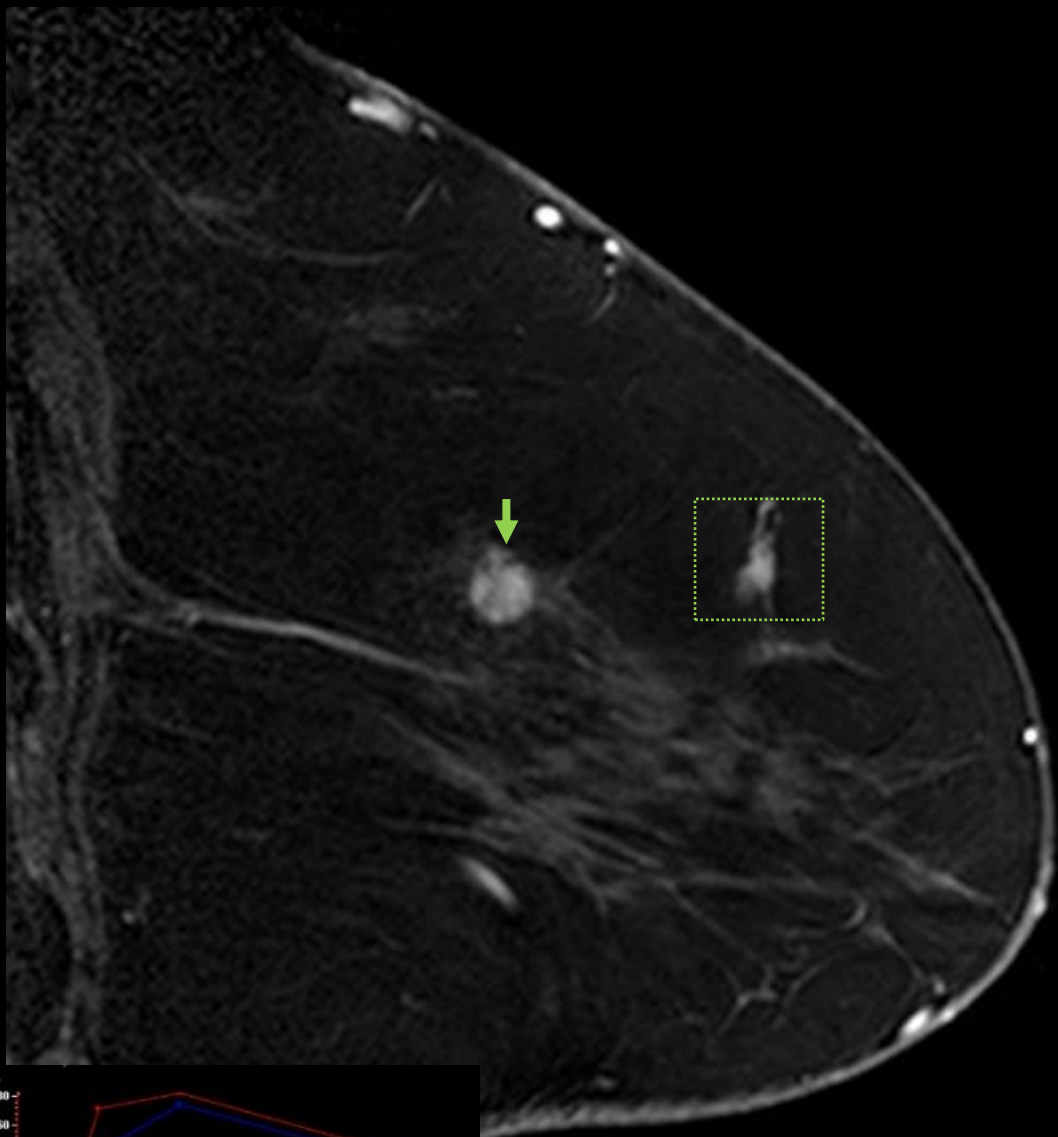
筆頭演者の利益相反状態の開示

すべての項目に該当なし

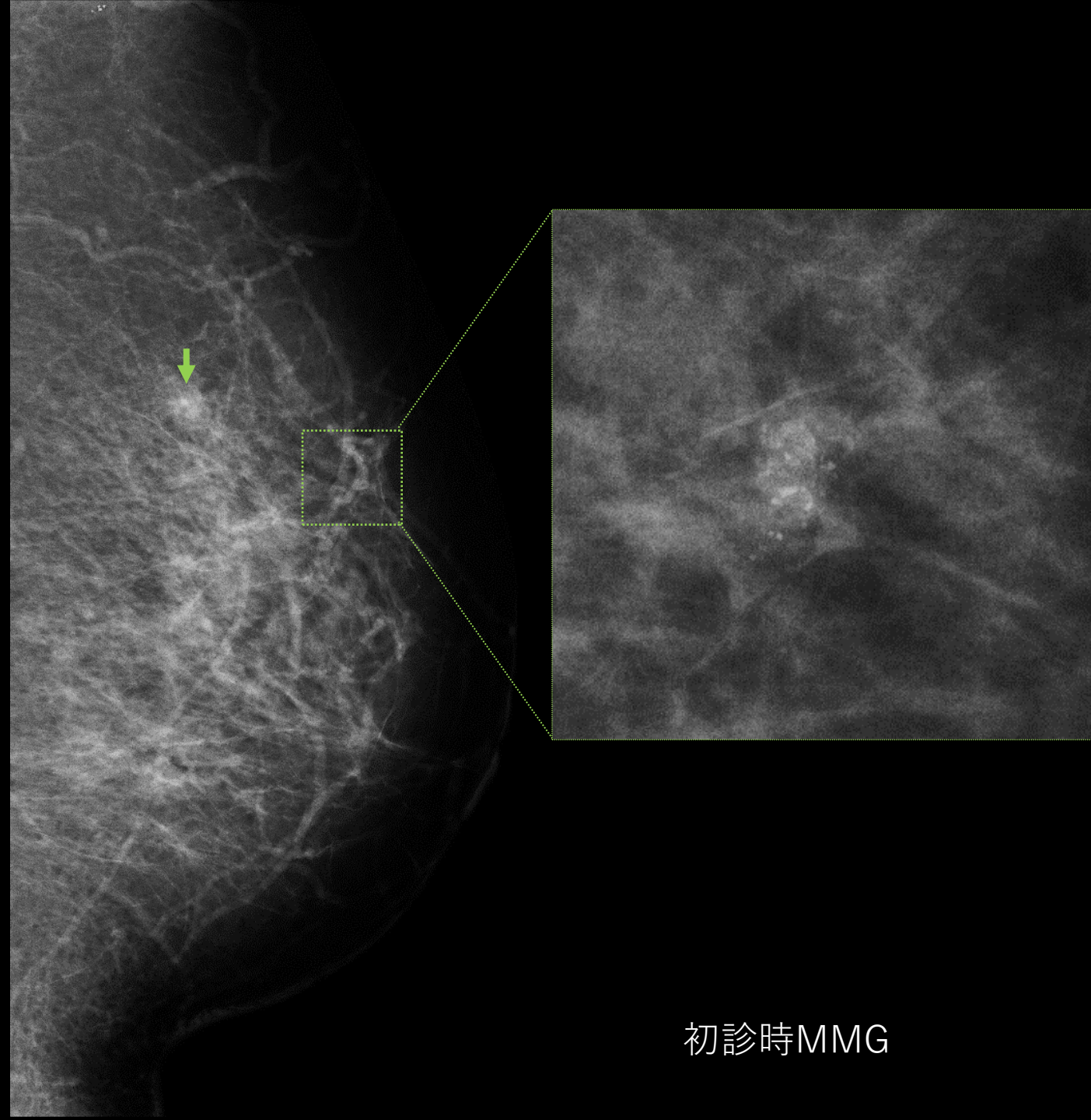
症例 1

症例 1

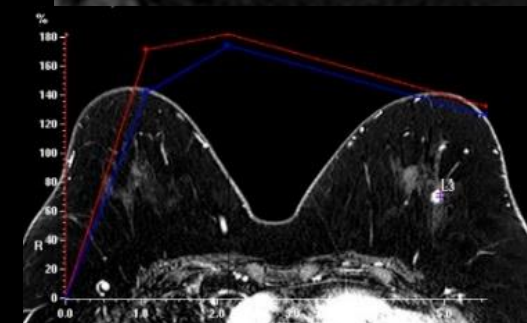
- 60歳代 女性
- マンモグラフィ検診で左乳房の石灰化病変を指摘され精査機関を受診。石灰化病変に対してマンモトーム生検を行い、乳癌と診断された。
- 家族歴：なし
- 既往歴：なし
- 視触診：異常なし



術前MRI
造影後T1WI矢状断像



初診時MMG



症例 1

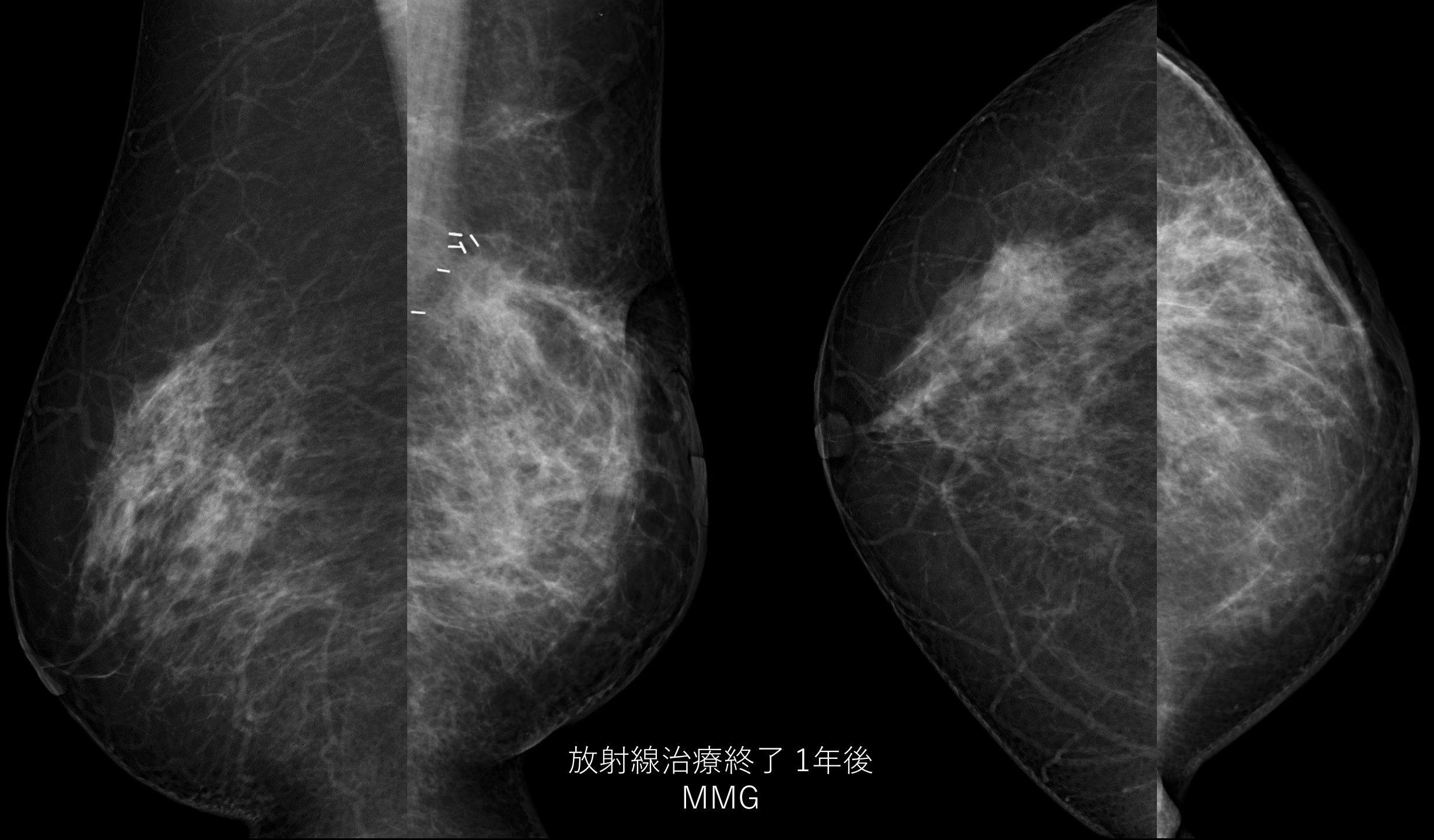
- 病変の広がりには左C区域の二病変（腫瘍と石灰化病変）と診断され、左乳房部分切除術＋左腋窩センチネルリンパ節生検を施行
- 病理診断
 - 浸潤性乳管癌，硬性型，pT1b，浸潤径6mm，浸潤径＋乳管内進展巣1.5×1cm，核グレード1，ER陽性，PgR陽性，Her2陰性，Ki67陽性率5%，Ly0，V0，断端陰性，センチネル0/1，pN0(sn)
- 放射線療法施行
 - 全乳房照射
- 内分泌療法開始

症例 1

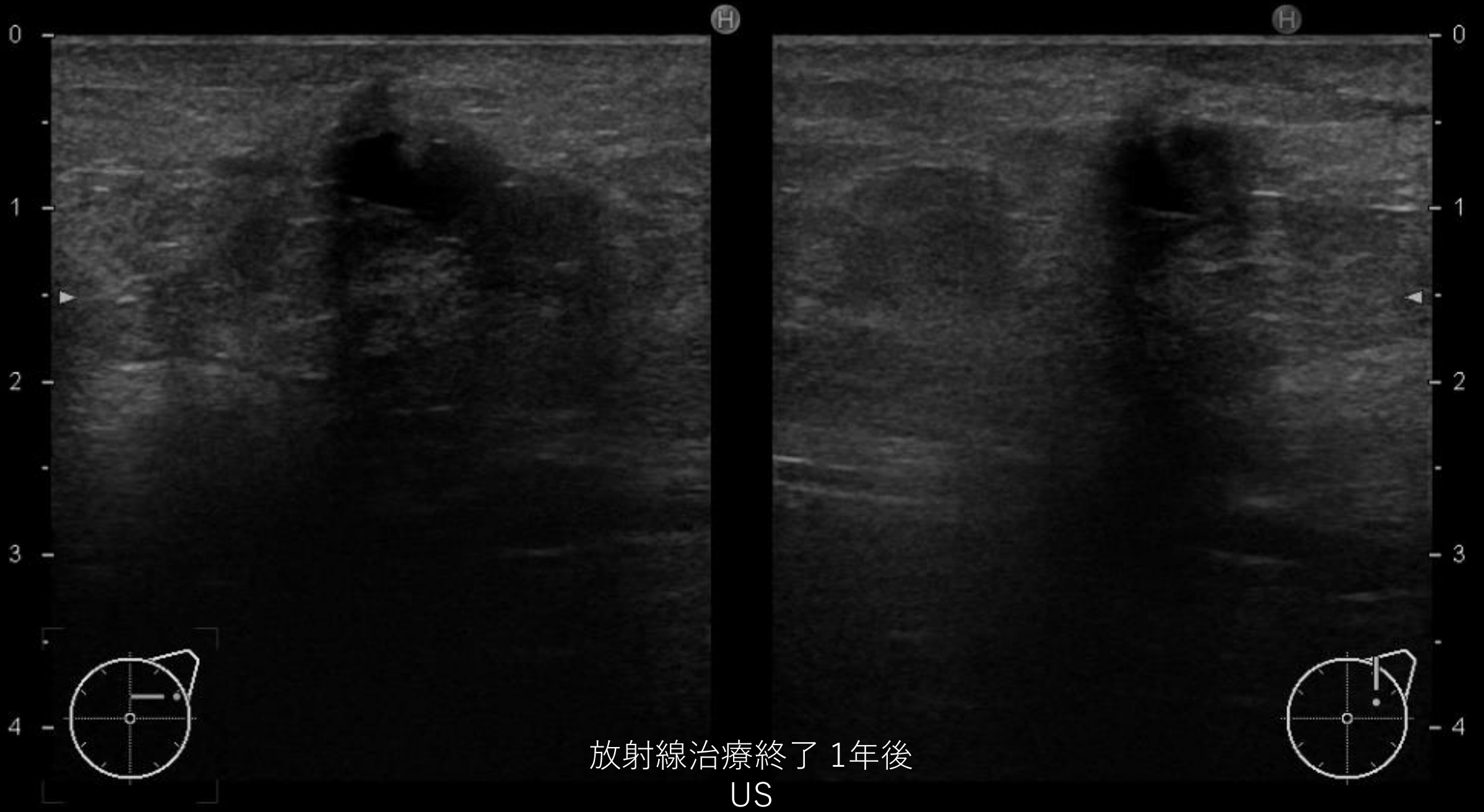
- Q-1. 乳癌温存療法後の温存乳房や対側乳房の定期的経過観察にはどのような画像検査を行うか？

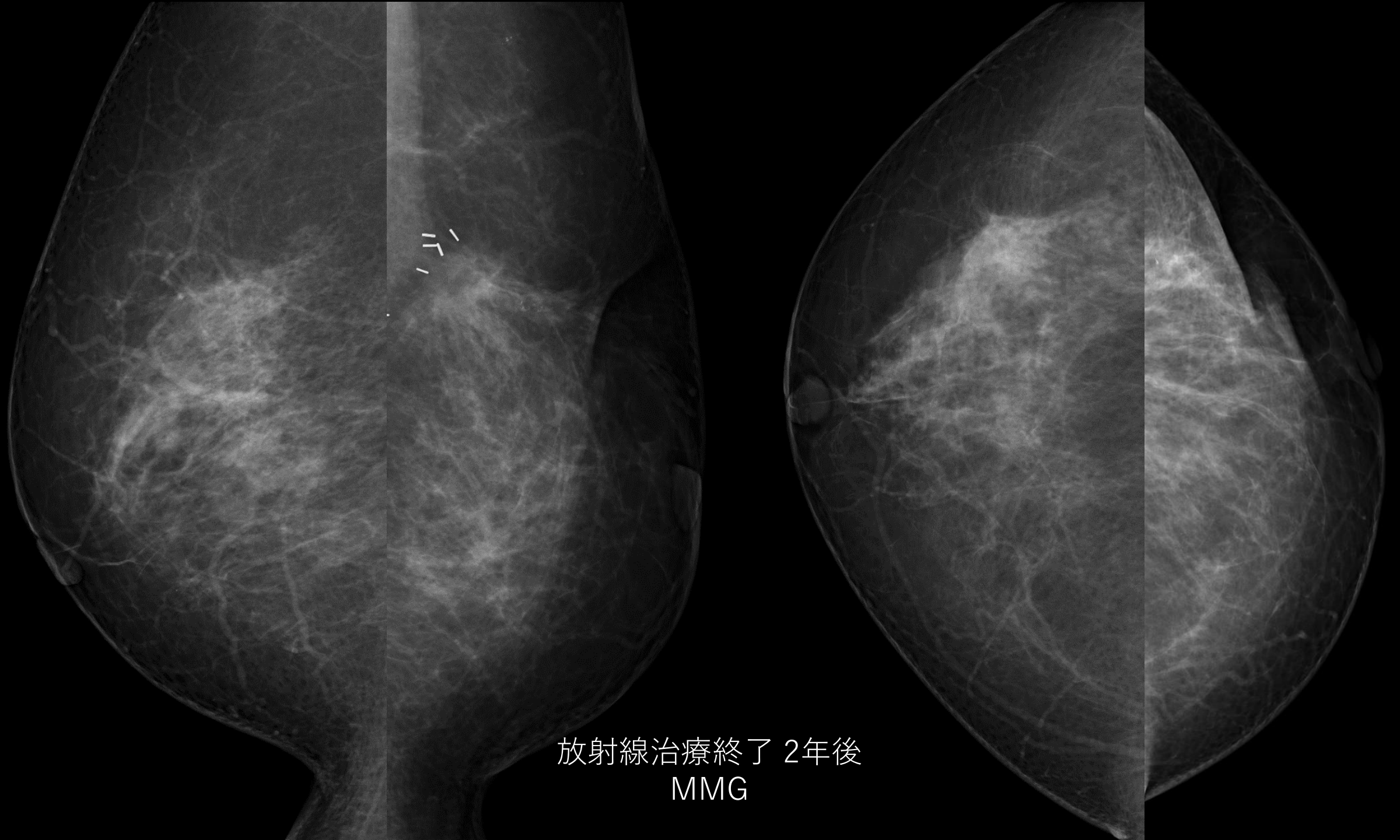
症例 1

- 放射線治療終了1年後から、MMGとUSによる定期的な画像検査を開始した。

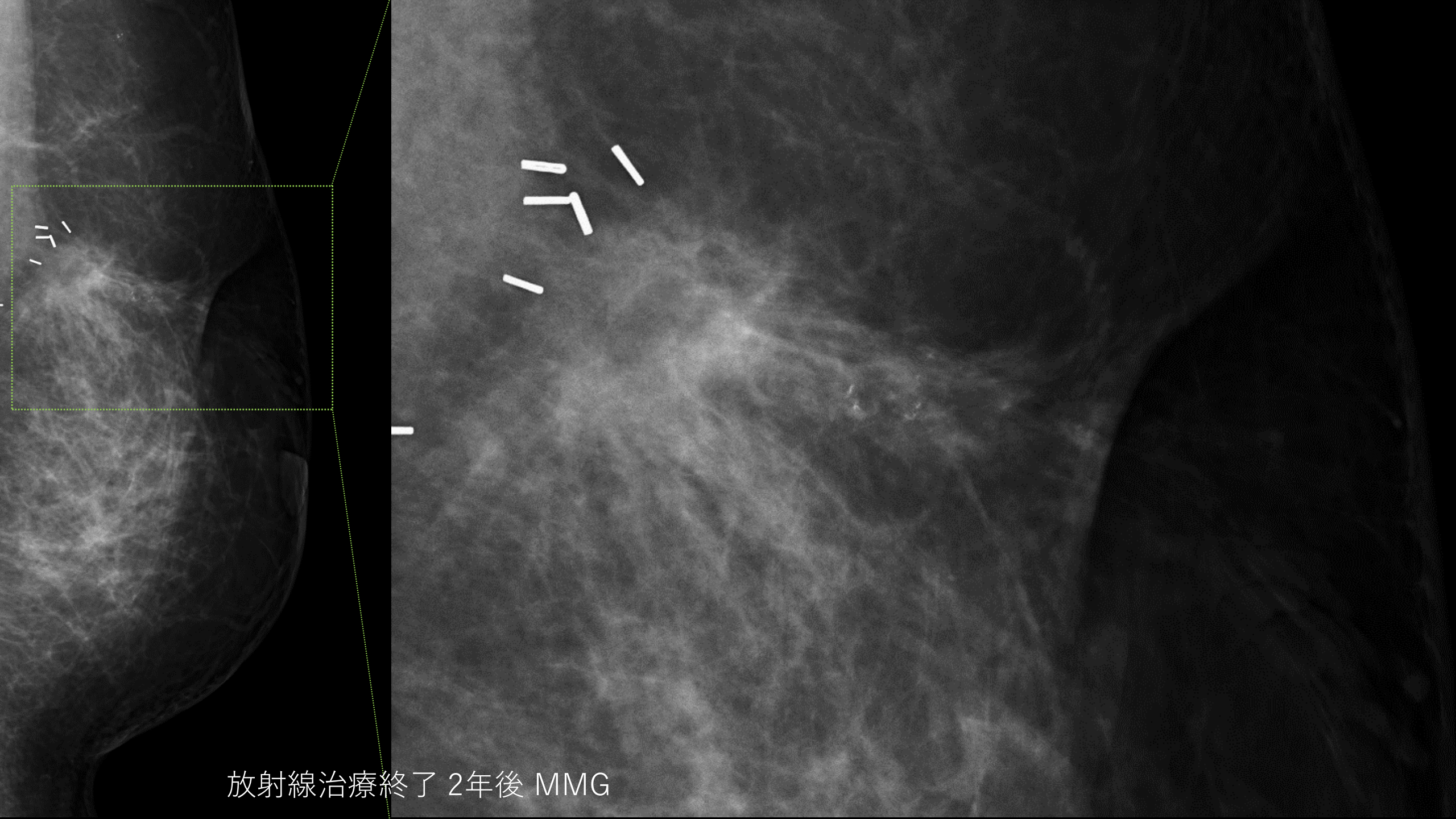


放射線治療終了 1年後
MMG

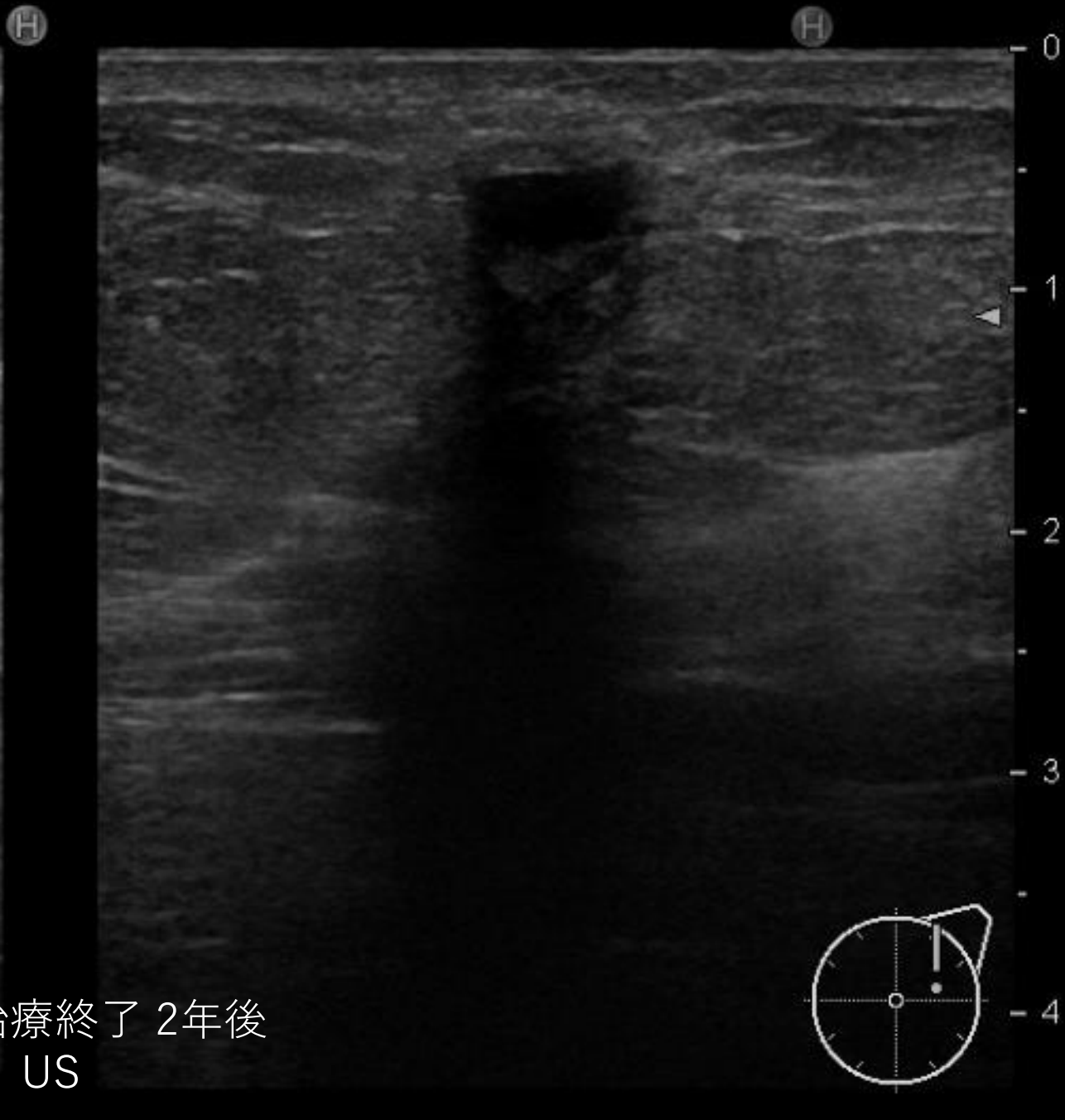
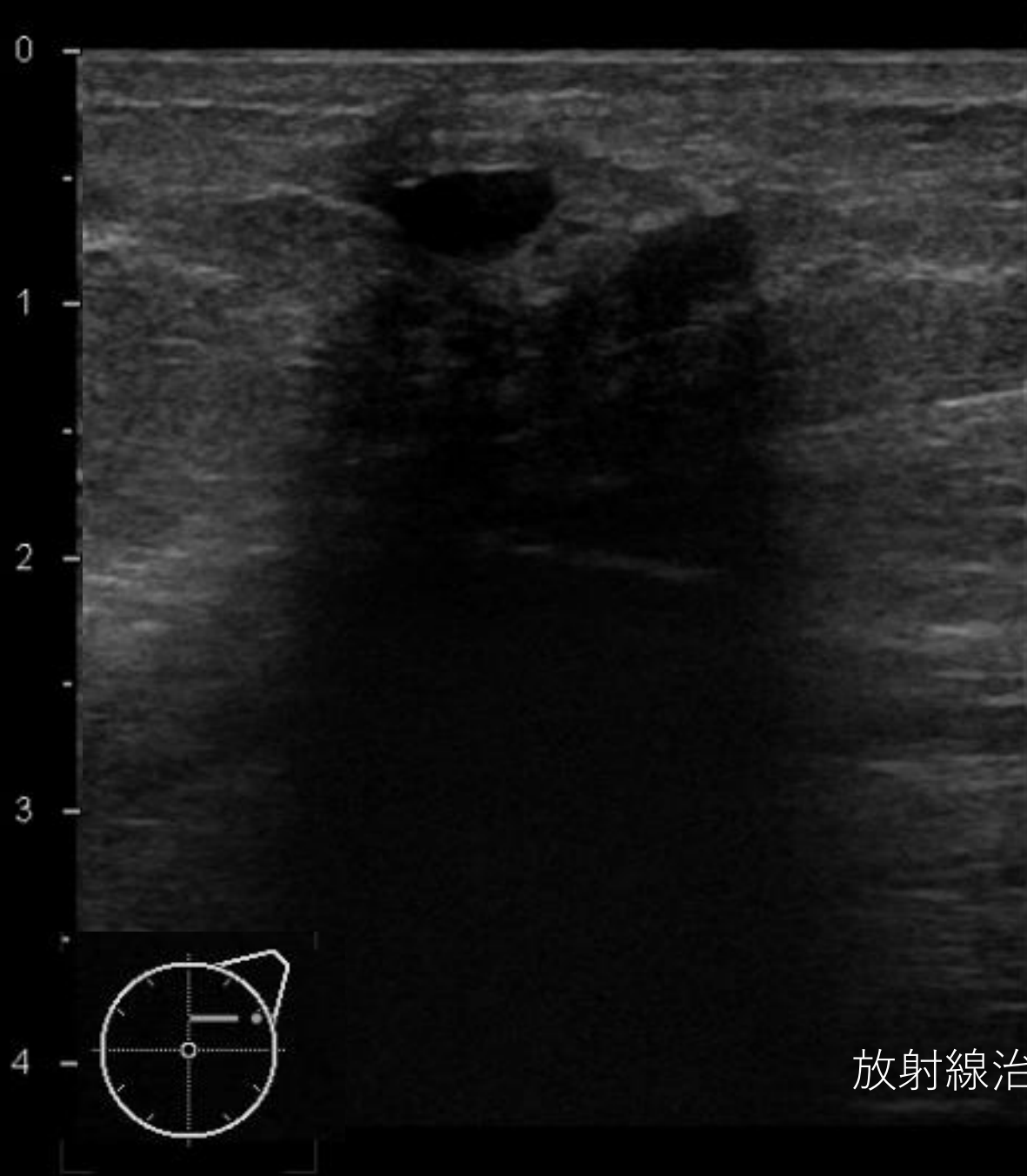




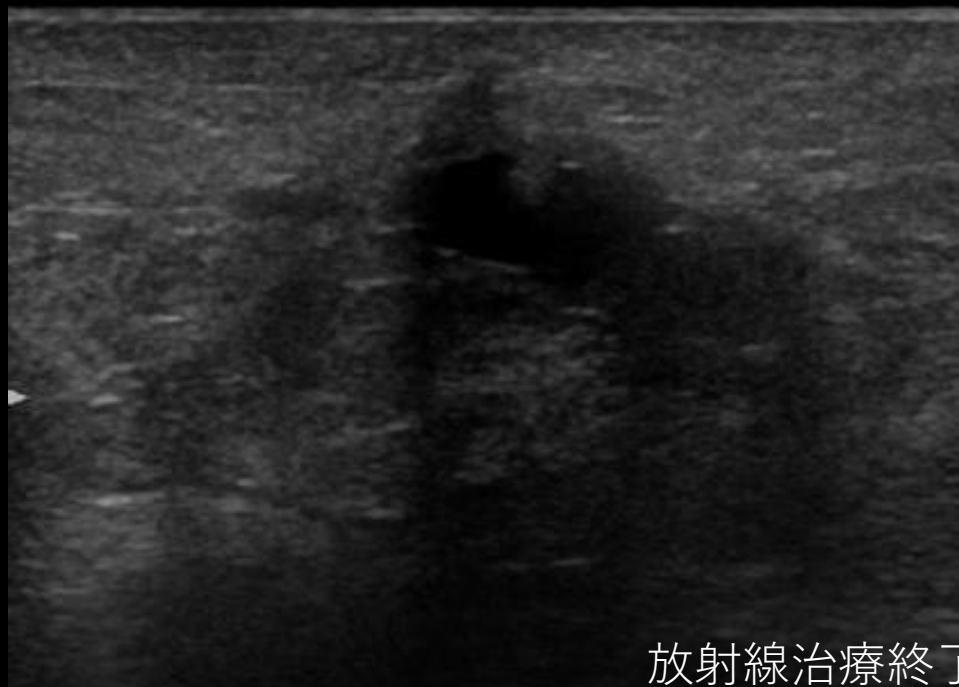
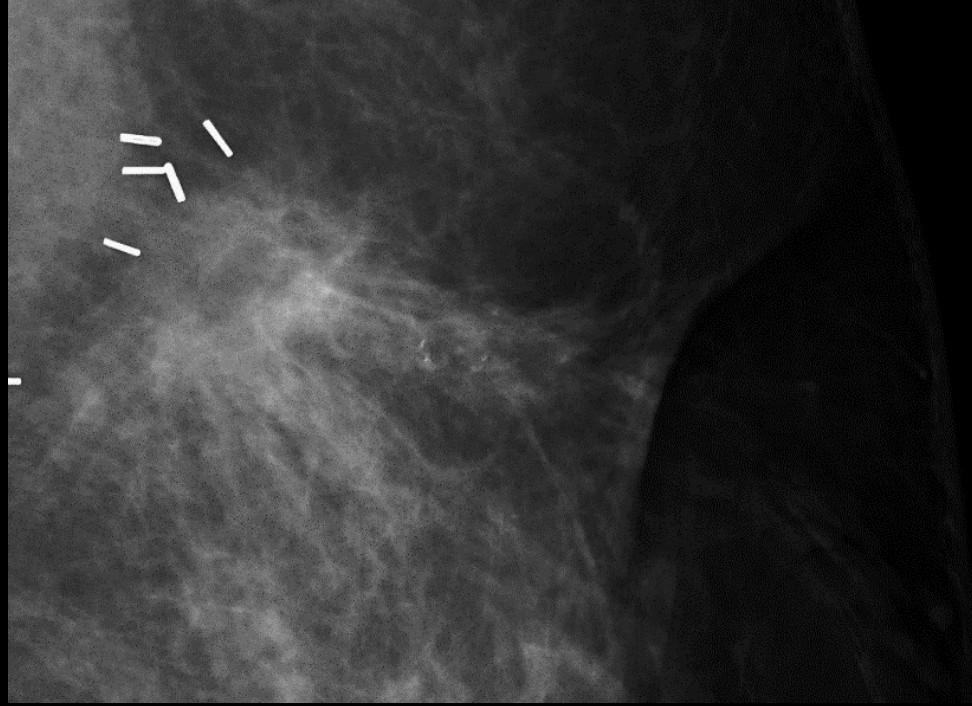
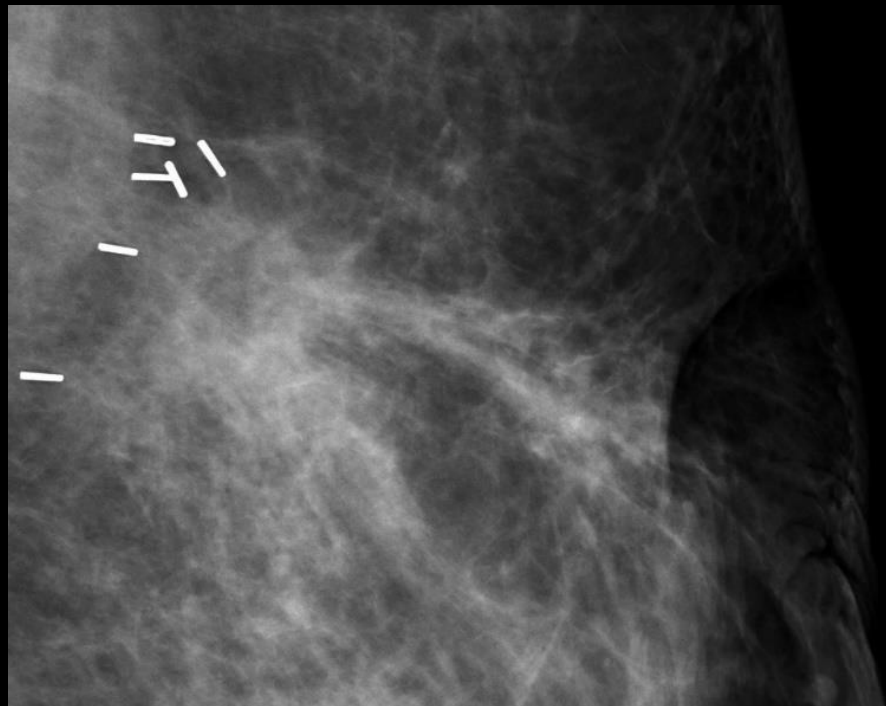
放射線治療終了 2年後
MMG



放射線治療終了 2年後 MMG



放射線治療終了 2年後
US



放射線治療終了後 1年

放射線治療終了後 2年

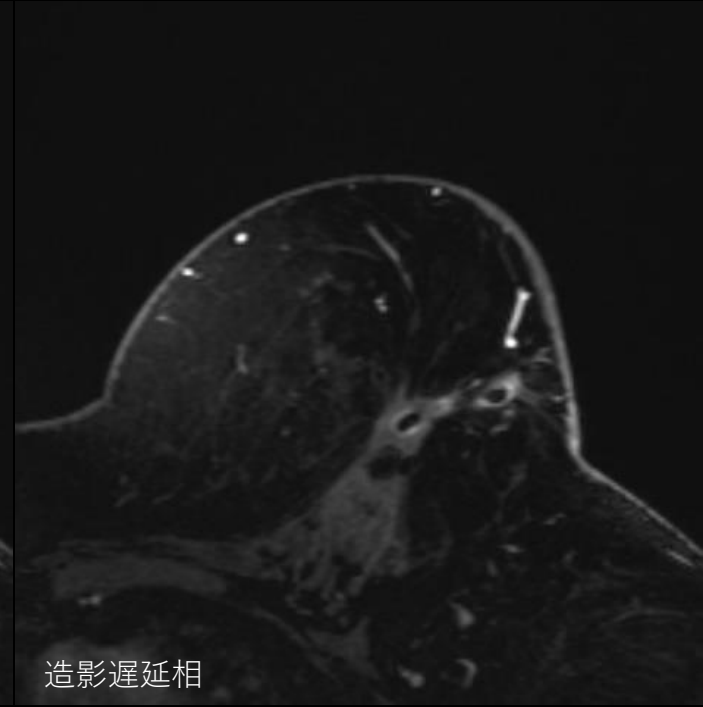
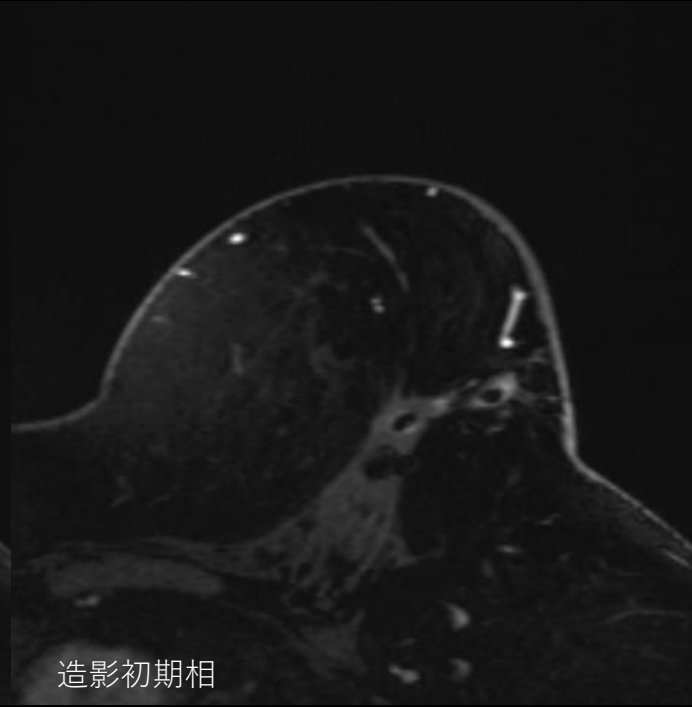
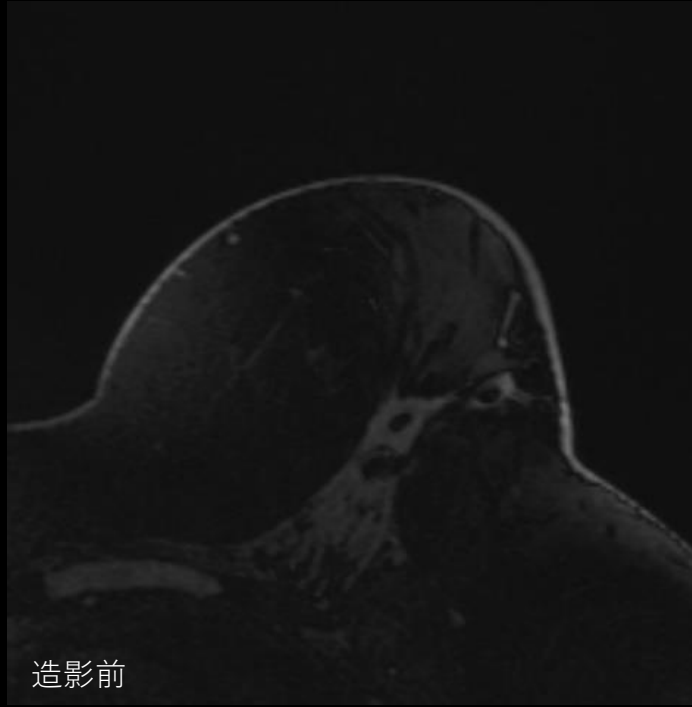
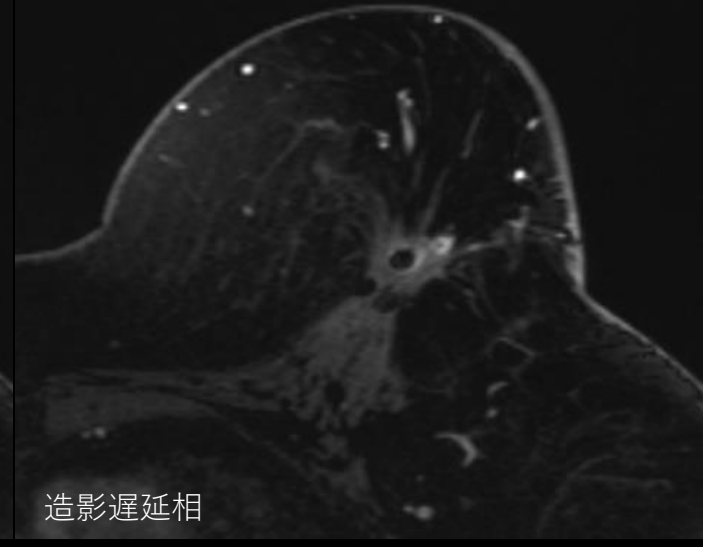
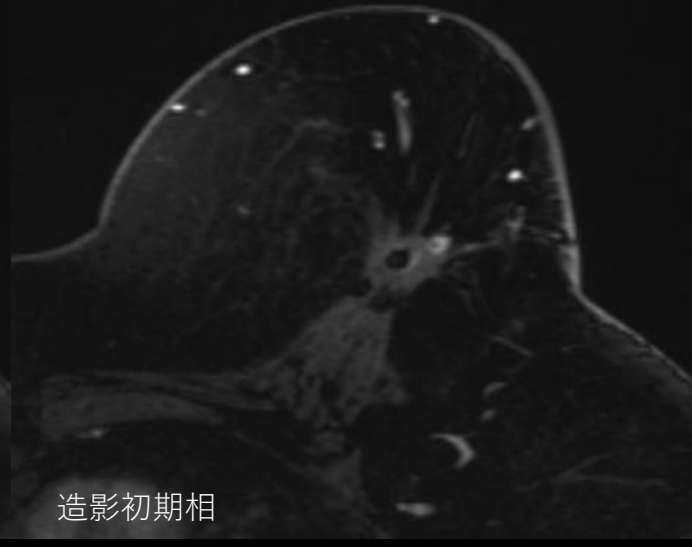
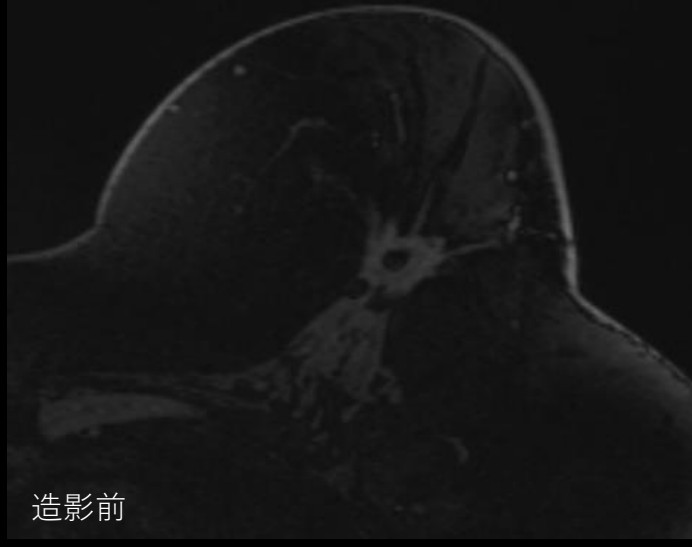
症例 1

- Q-2. 乳房温存療法によって画像に現われている良性変化は？
- Q-3. 放射線治療終了2年後のMMGで、左乳房の術創部付近に出現した石灰化の診断は？次の方針は？

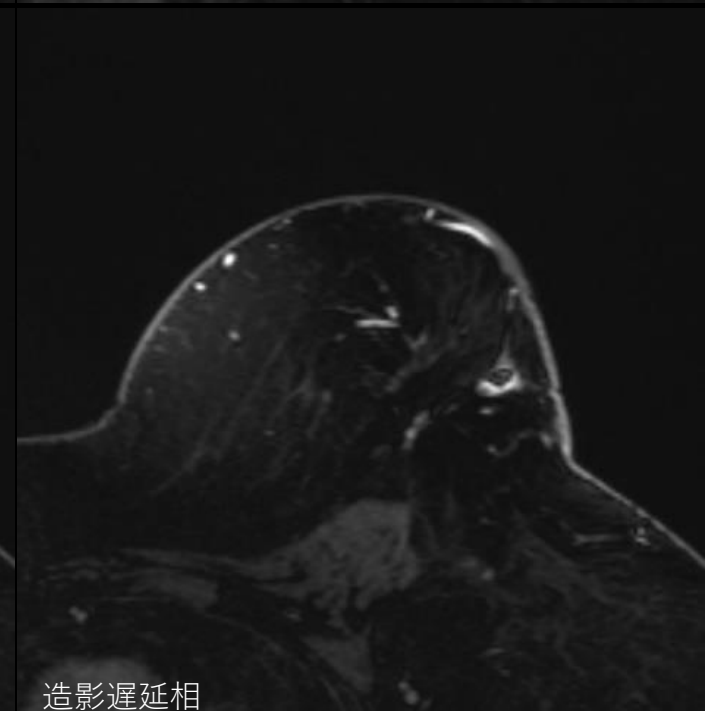
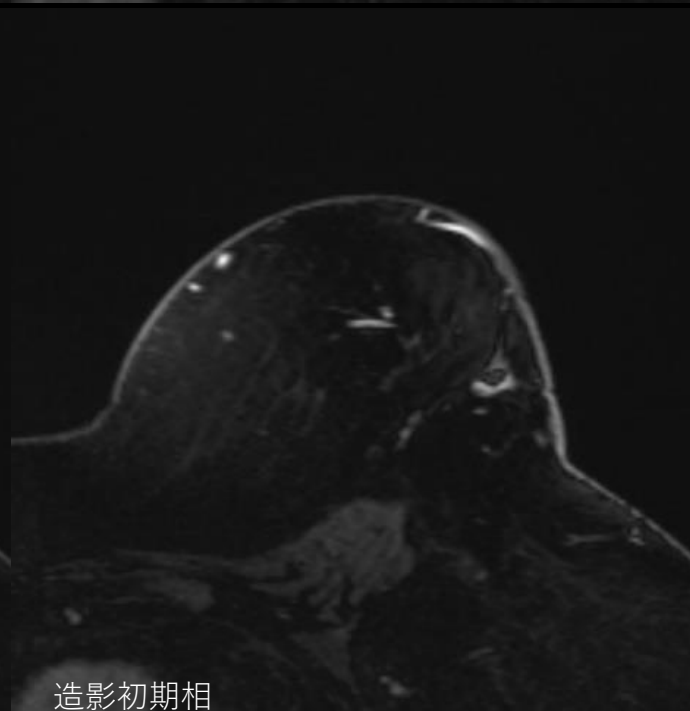
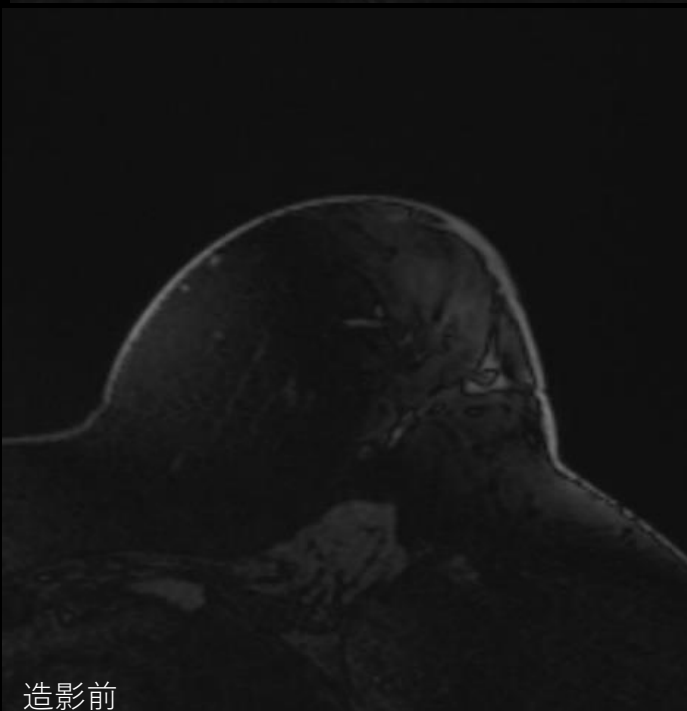
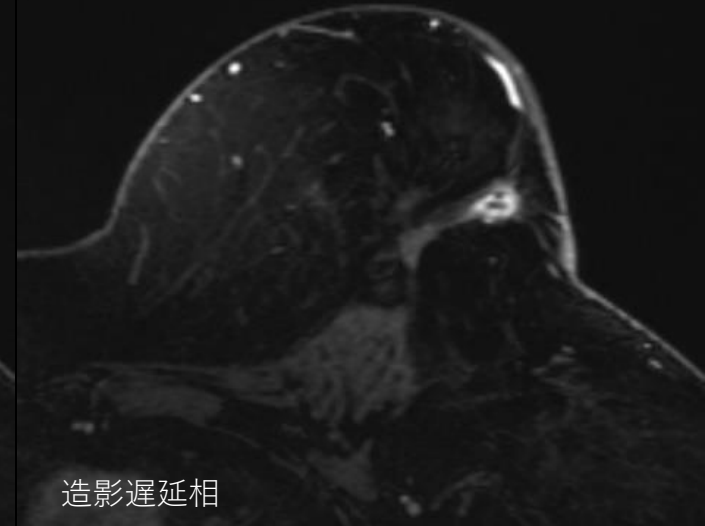
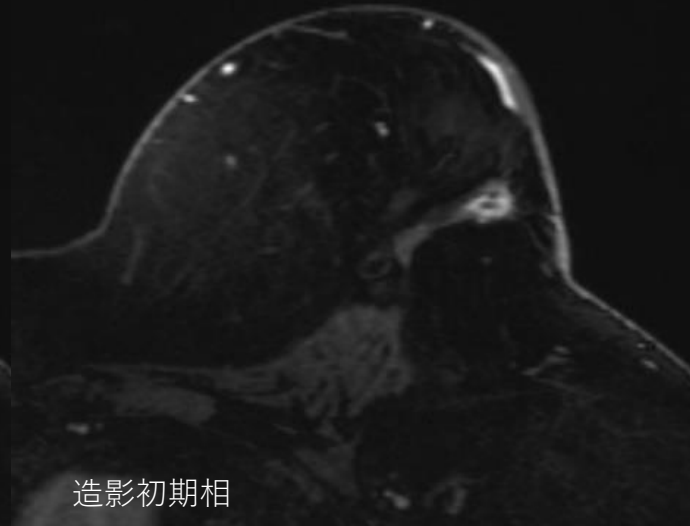
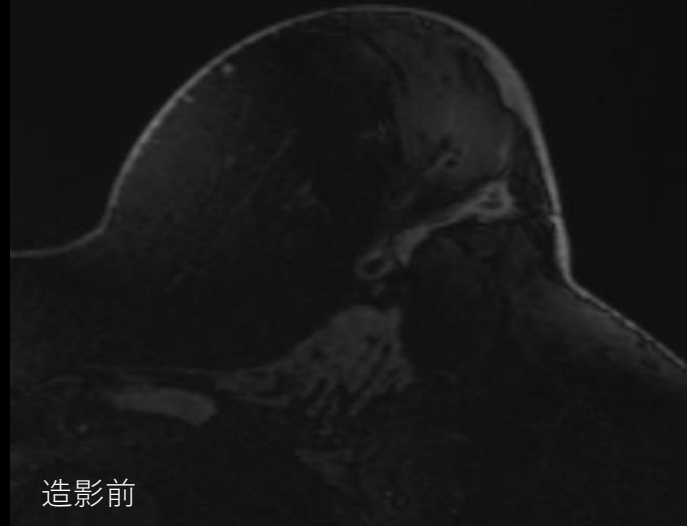
症例 1

- ダイナミック造影MRI検査を施行

放射線治療終了後 2年
ダイナミック造影MRI



放射線治療終了後 2年
ダイナミック造影MRI



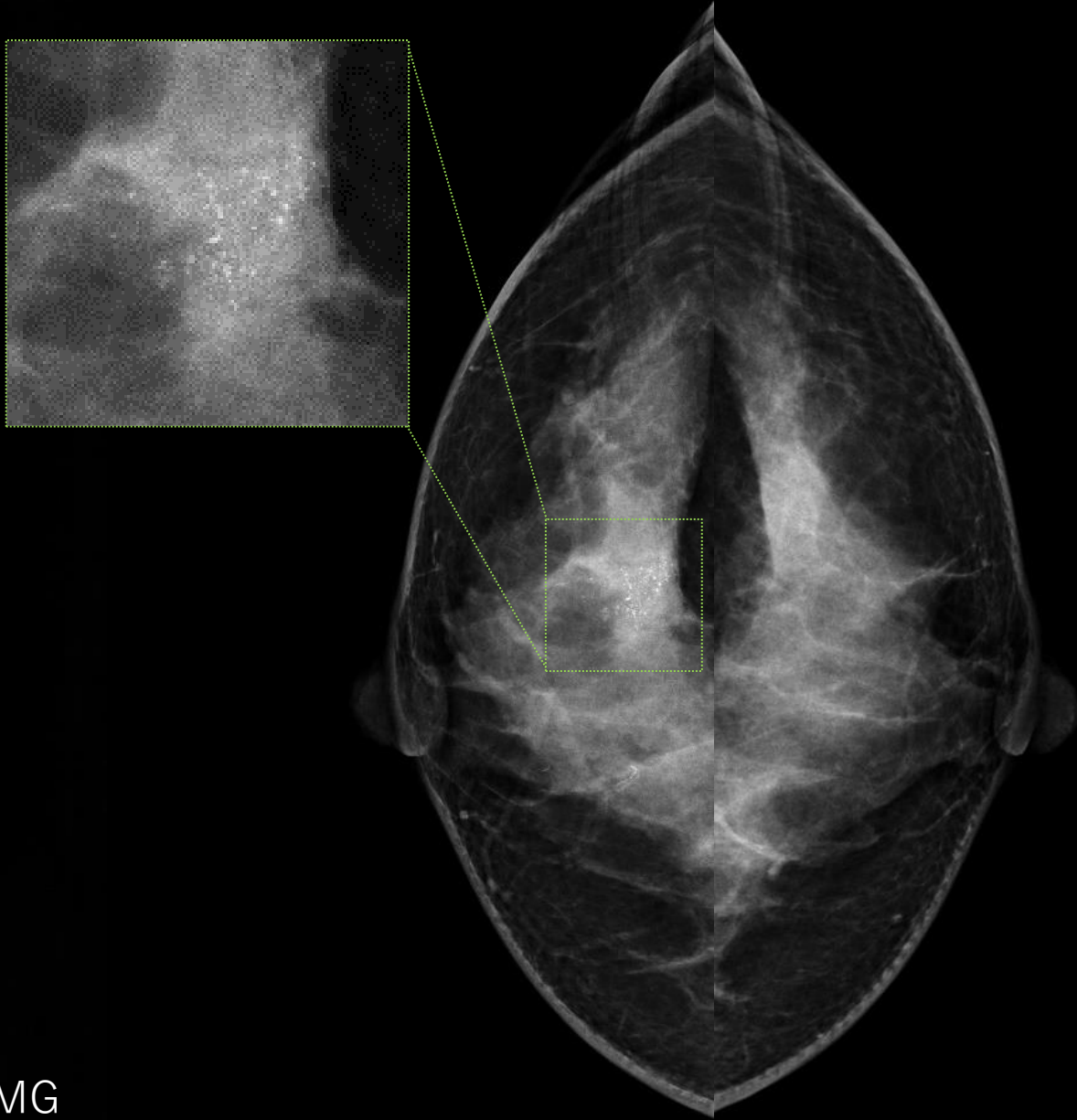
症例 1

- Q-4. ダイナミック造影MRIの画像所見および診断は？

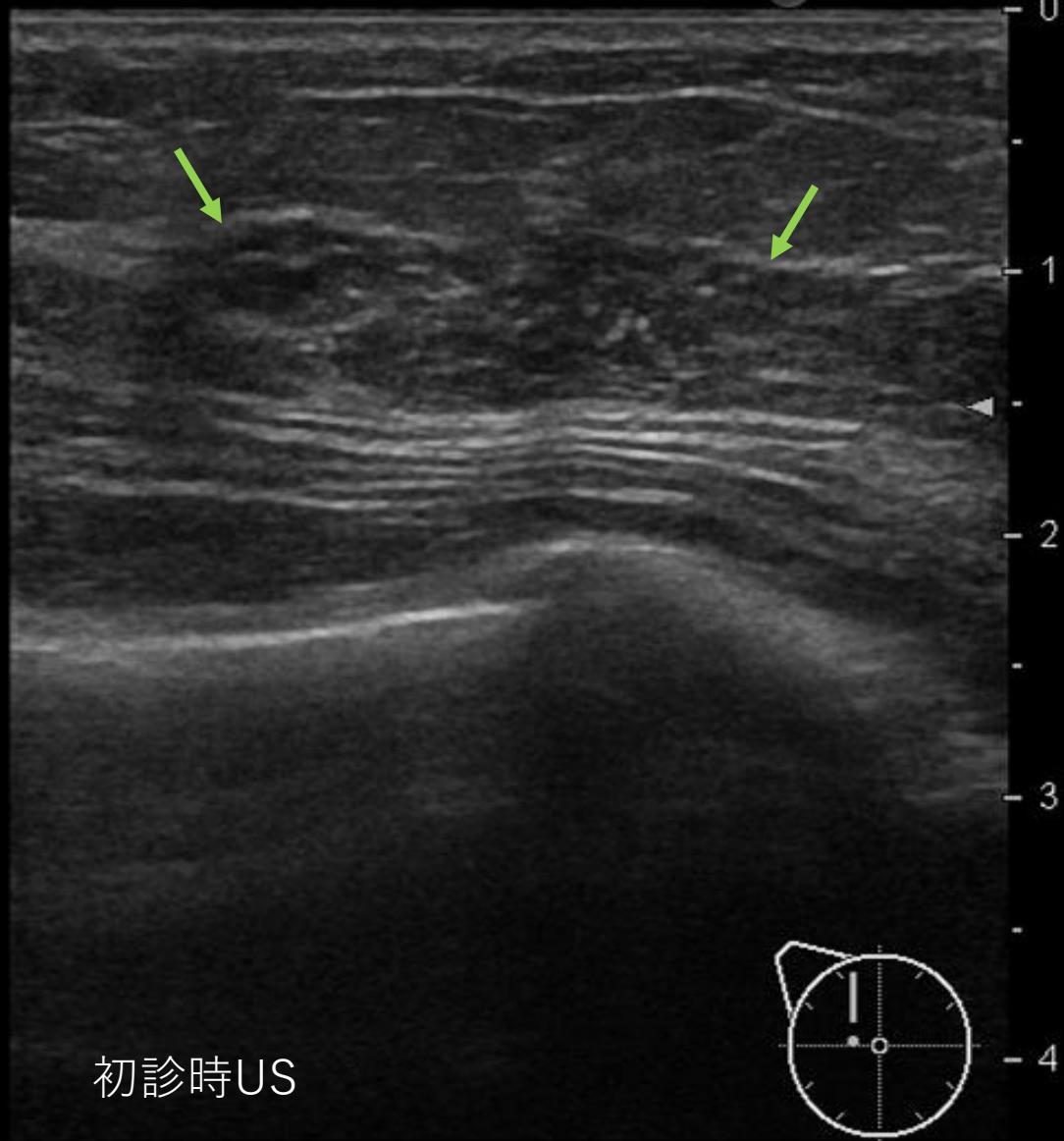
症例 2

症例 2

- 40歳代 女性
- 任意型検診のUS検査で左乳房の異常を指摘され精査機関を受診。US下で針生検を行い、乳癌（非浸潤性乳管癌）と診断された。
- 家族歴：なし
- 既往歴：なし
- 触診：異常なし



初診時MMG



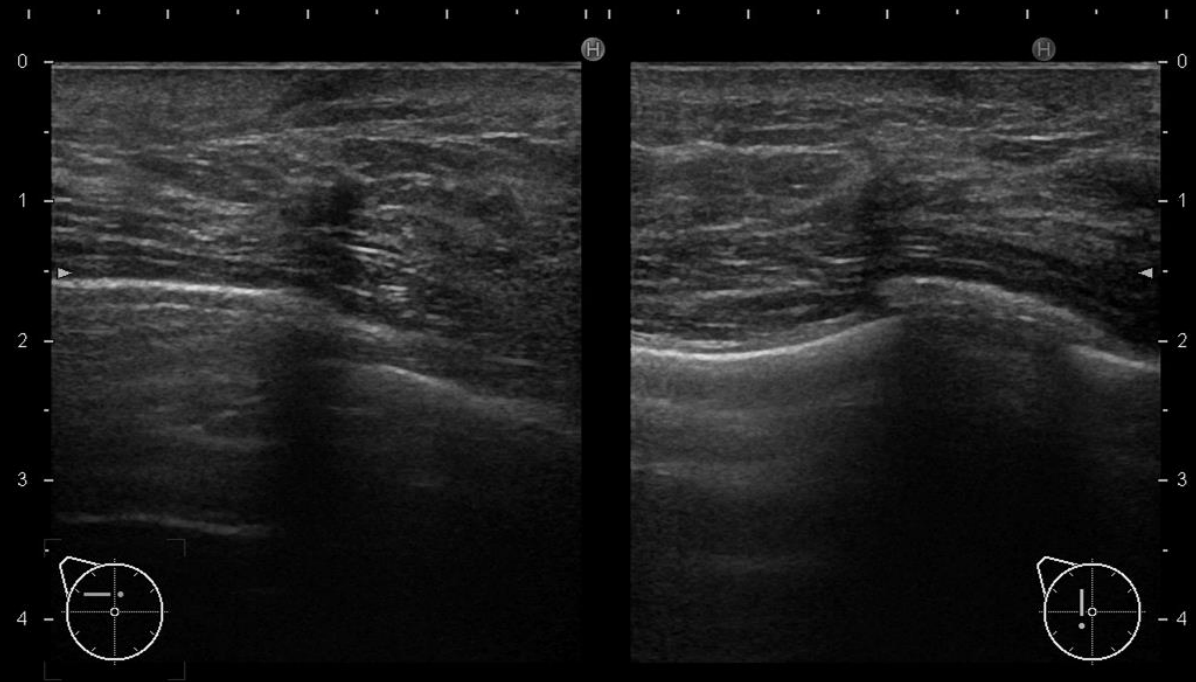
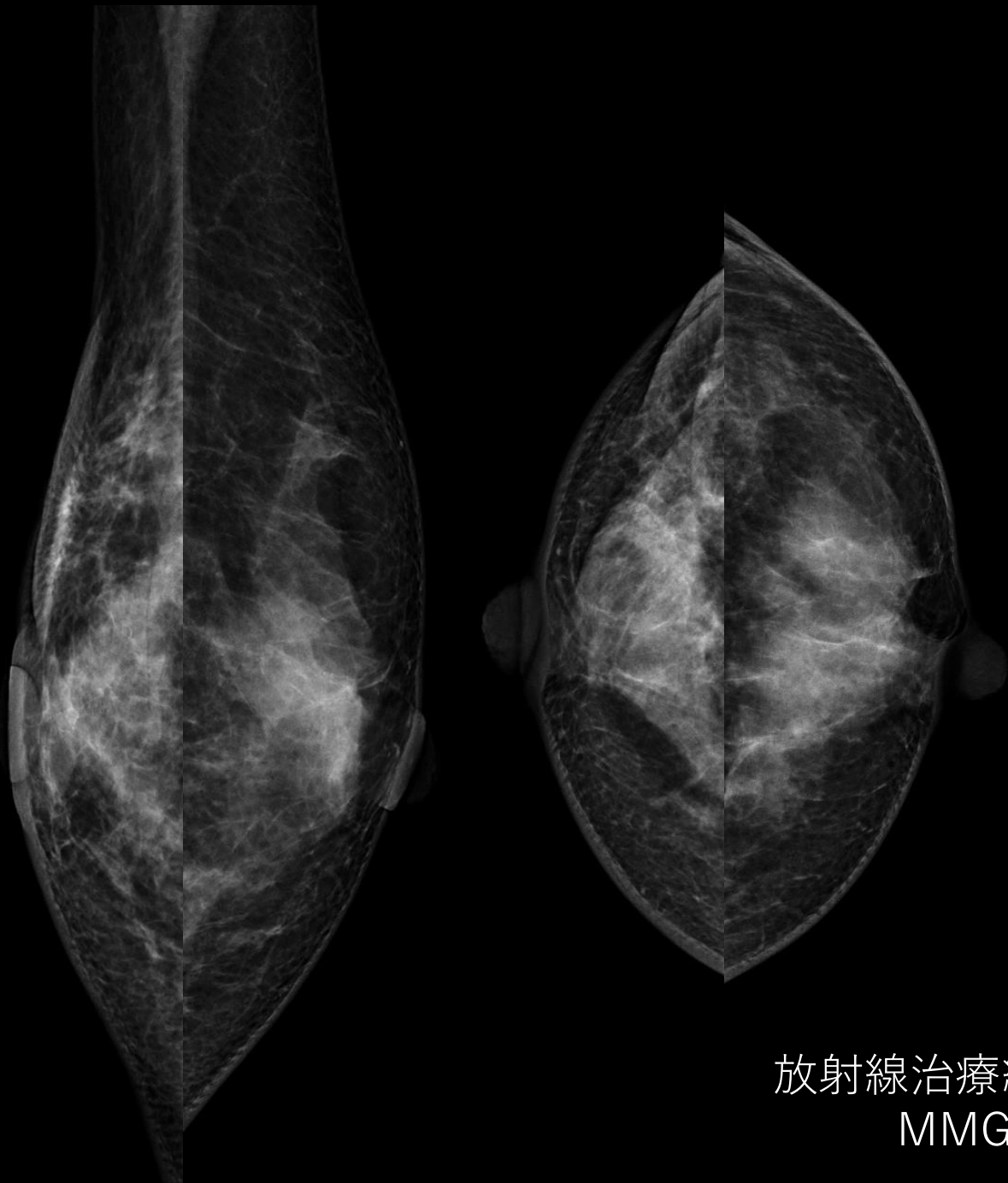
背景乳腺造影効果
が強く広がり
は判定困難

clustered
ring sign

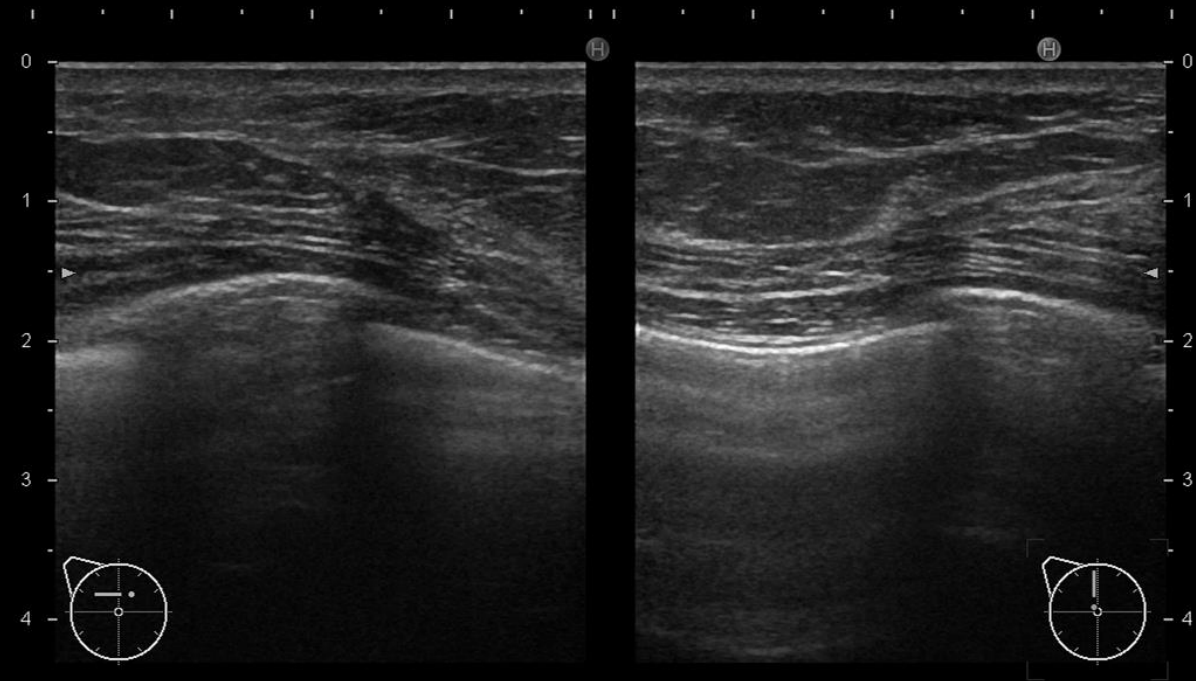
術前MRI
造影後T1WI矢状断像

症例 2

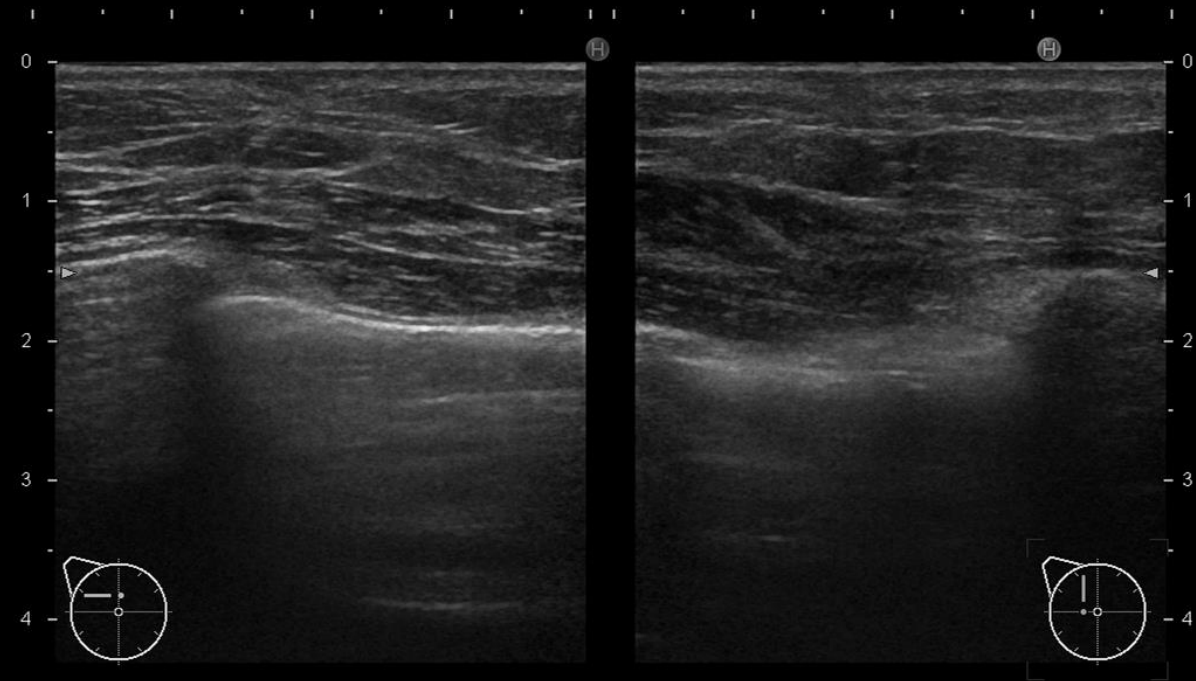
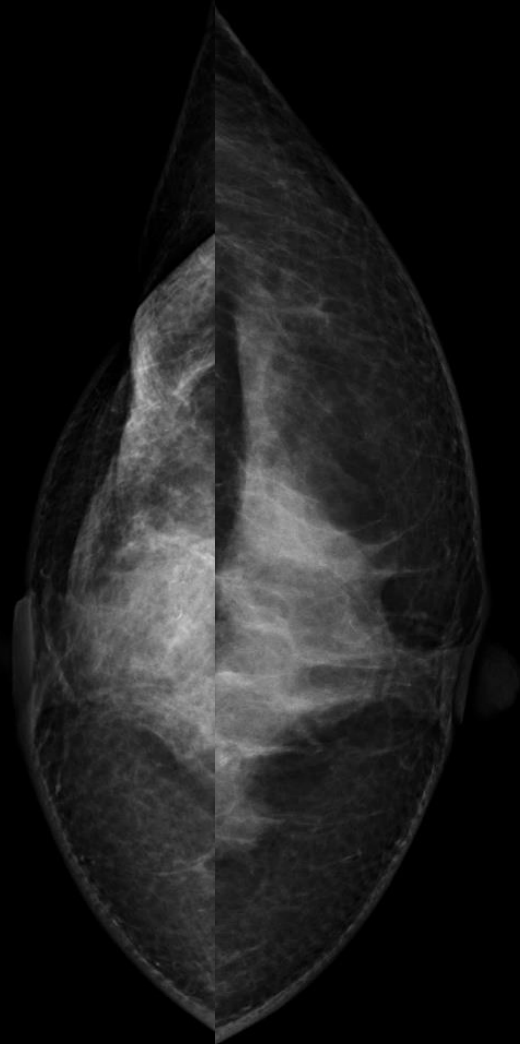
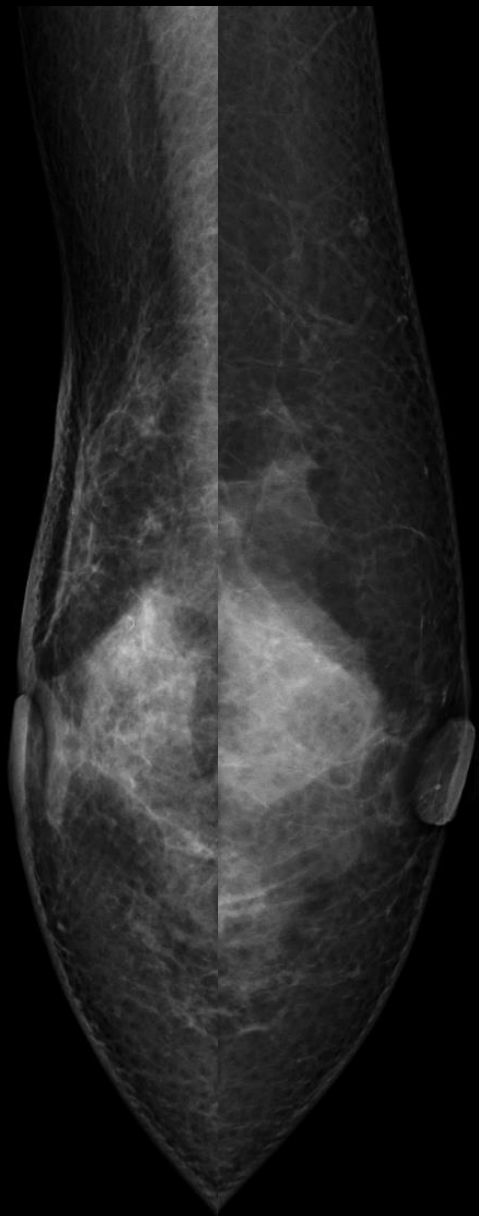
- 左乳房部分切除術＋左腋窩センチネルリンパ節生検を施行
- 病理診断
 - 非浸潤性乳管癌，核グレード3，ER陽性，PgR陽性，Her2陽性，Ki67陽性率40%，断端陽性（乳頭側切離面），センチネル0/1，pN0(sn)
- 放射線療法施行
 - 全乳房照射，2mm程度の小範囲の断端陽性であったため，患者と相談の上，追加切除は行わず，ブースト照射を選択
- 内分泌療法開始
- 放射線治療終了1年後からMMGとUSによる定期検査を開始



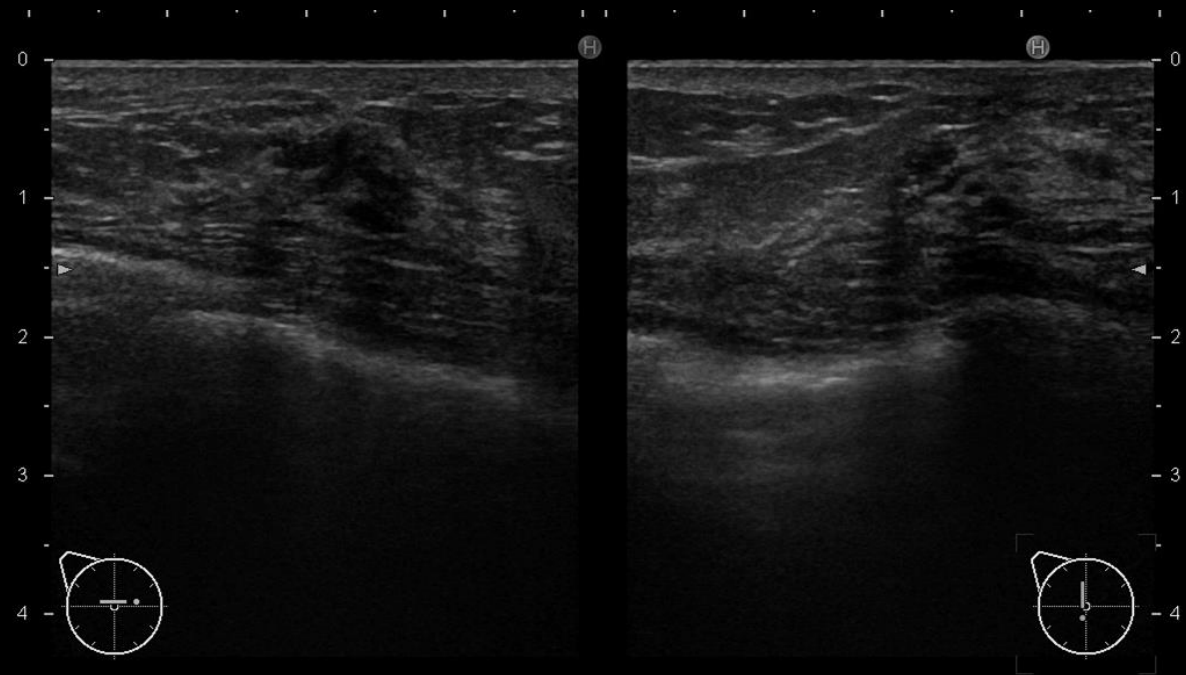
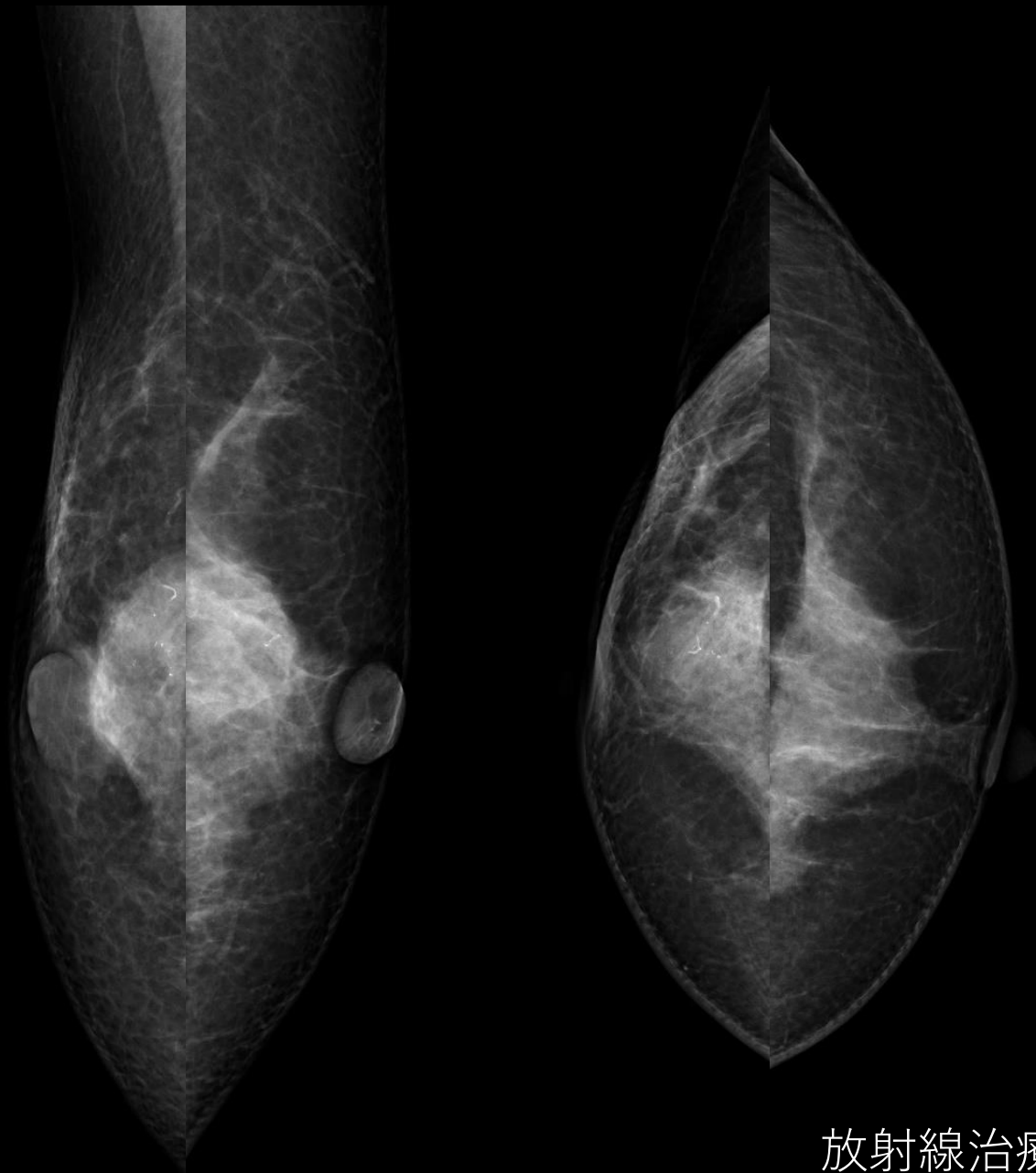
放射線治療終了 1年後
MMG/US



放射線治療終了 2年後
MMG/US



放射線治療終了 3年後
MMG/US



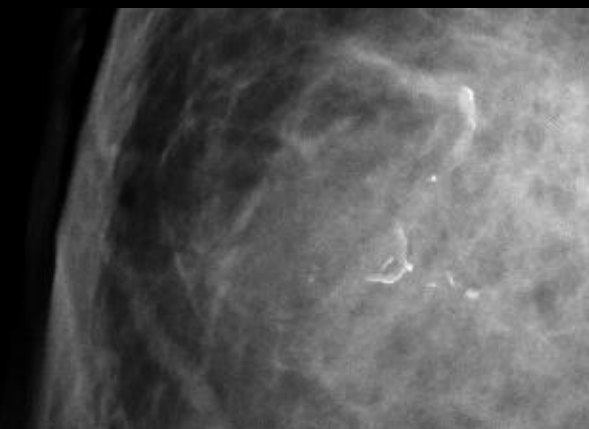
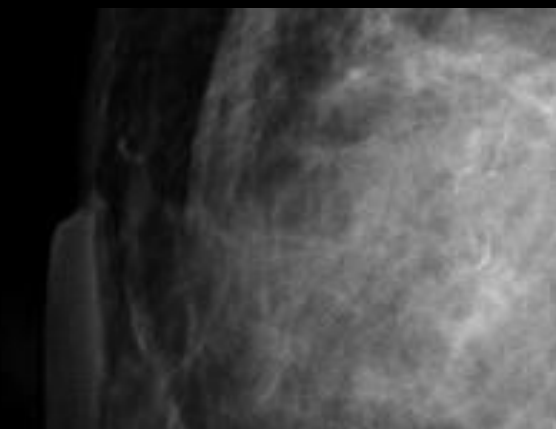
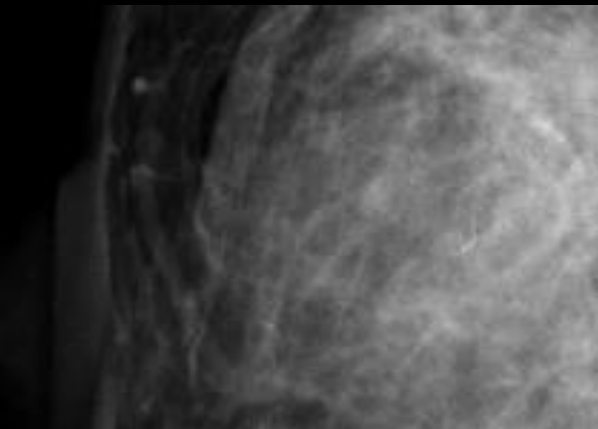
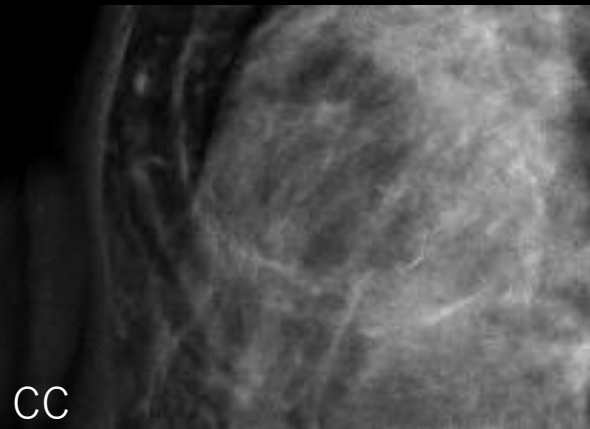
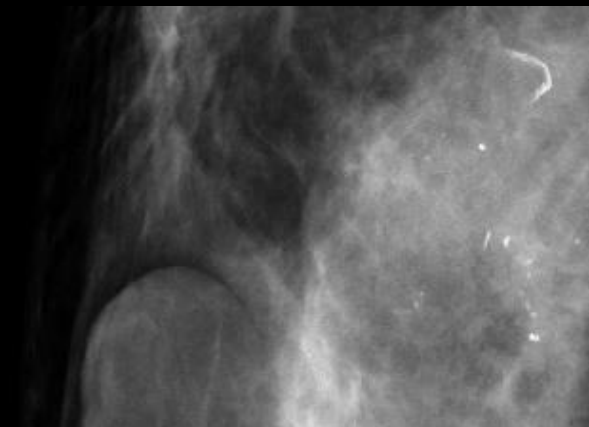
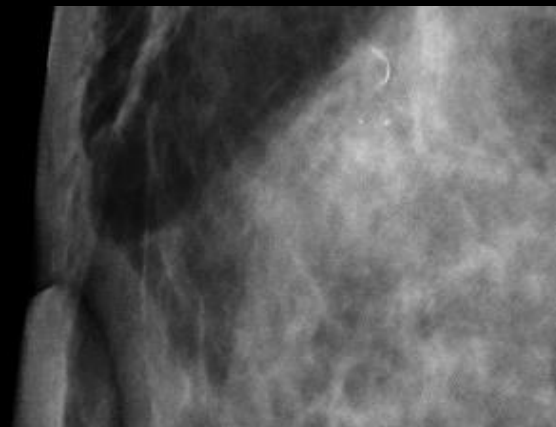
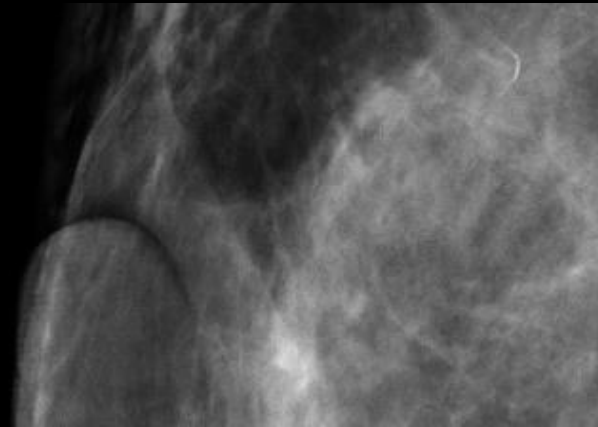
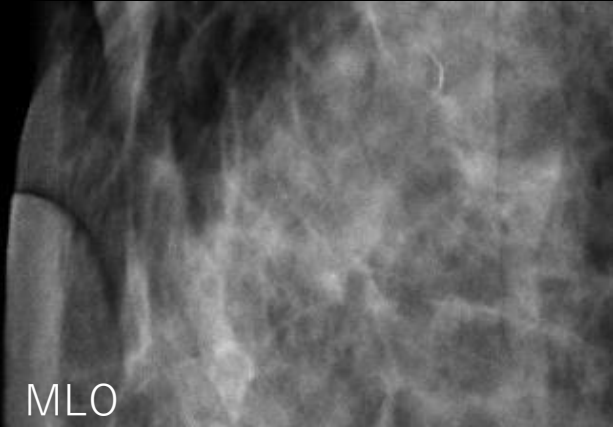
放射線治療終了 4年後
MMG/US

放射線治療終了 1年後

2年後

3年後

4年後



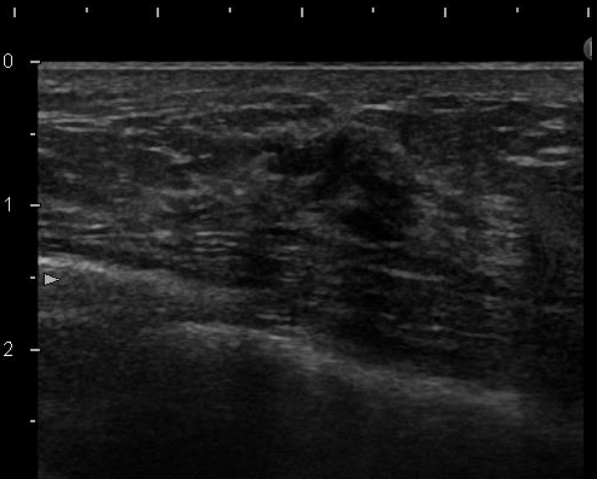
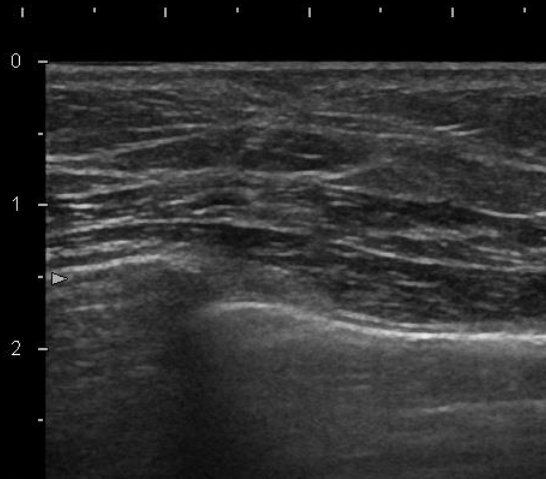
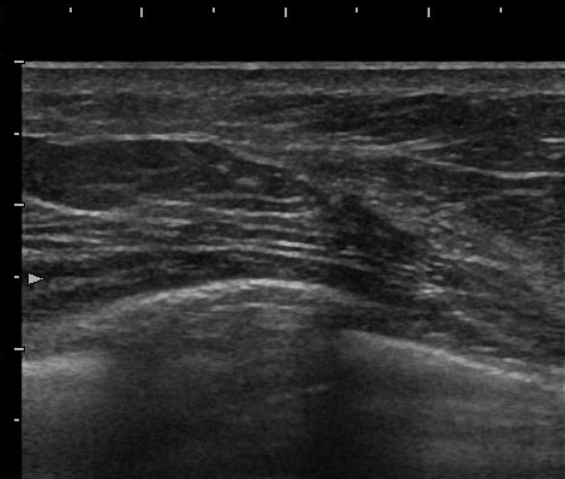
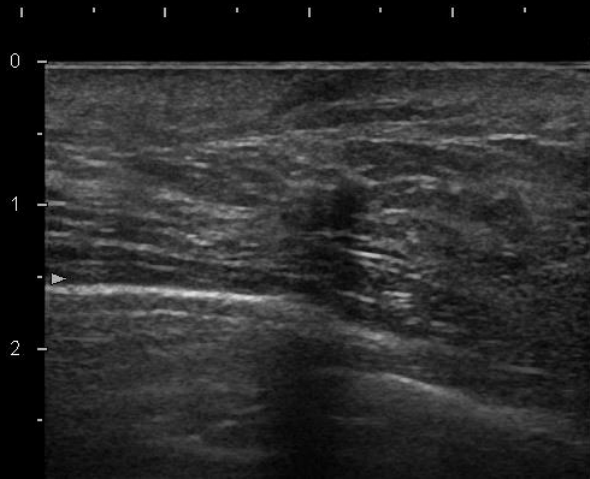
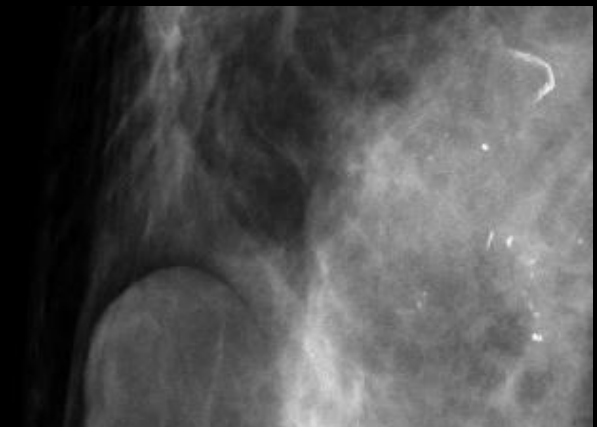
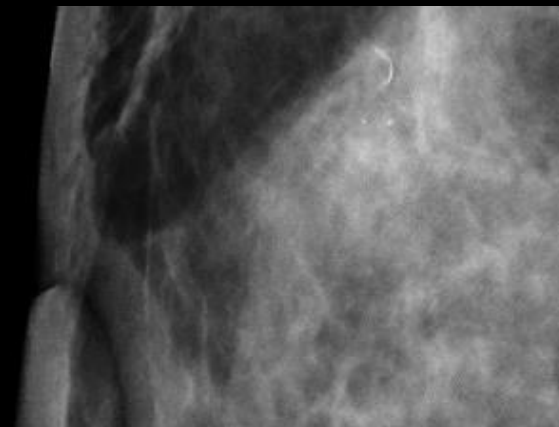
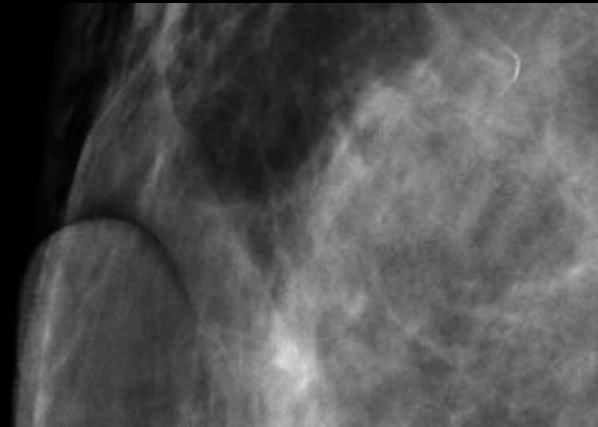
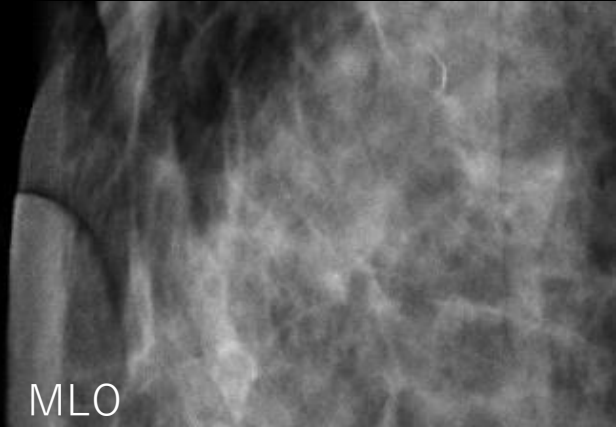
放射線治療終了 1-4年後 MMG：術創部の拡大像

放射線治療終了 1年後

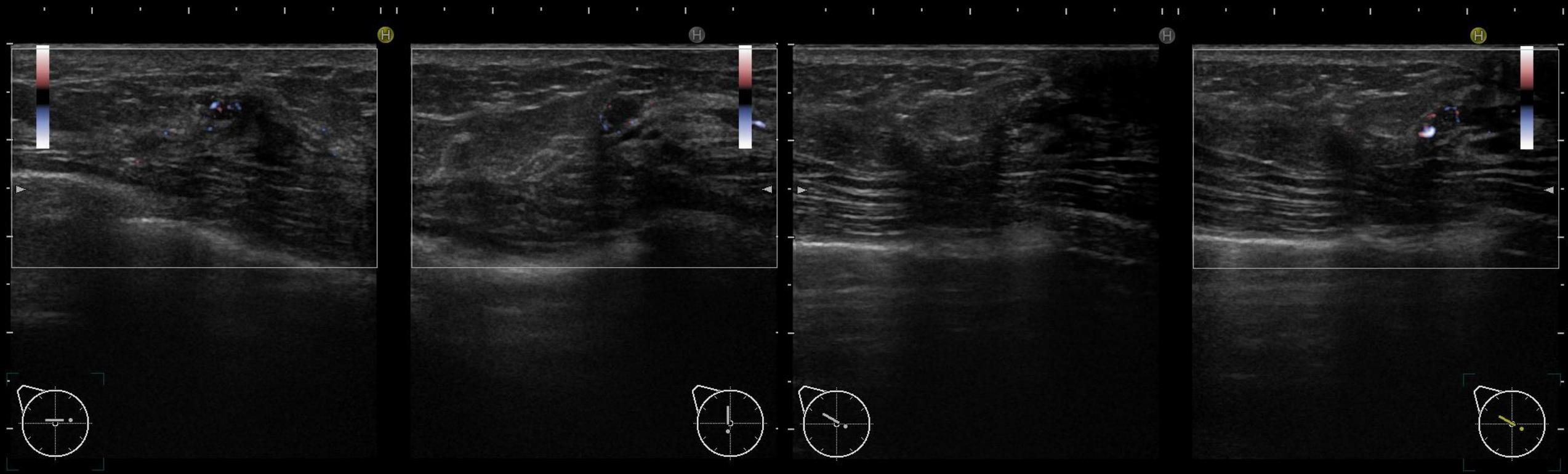
2年後

3年後

4年後



放射線治療終了 1-4年後 MMG / US



放射線治療終了 4年後
カラードプラUS

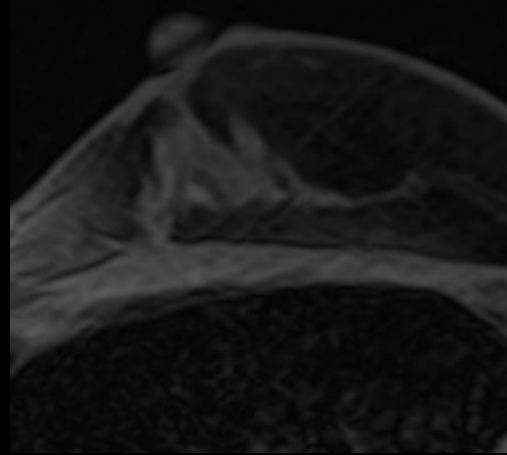
症例 2

- Q-1. 放射線治療終了4年後のMMGとUSの画像所見および診断は？

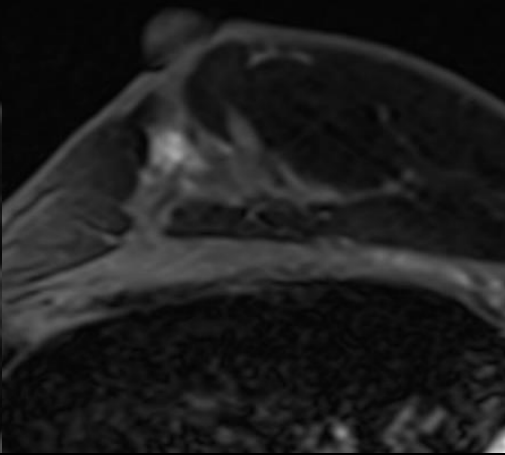
症例 2

- US下針生検施行
- ダイナミック造影MRI検査を施行

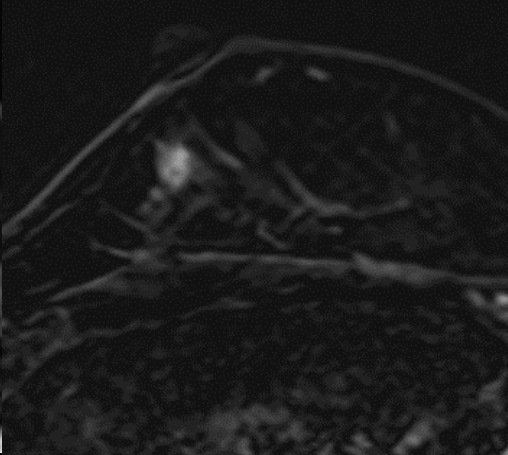
造影前



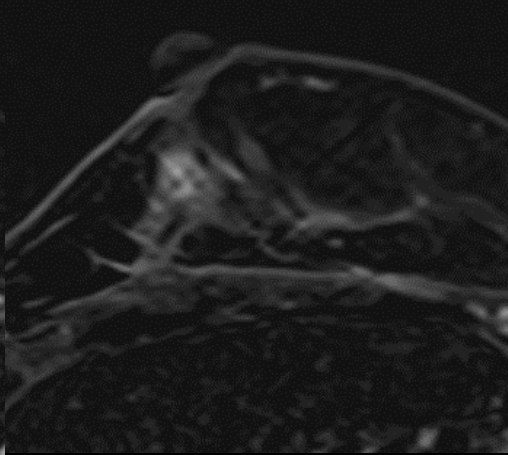
造影初期相



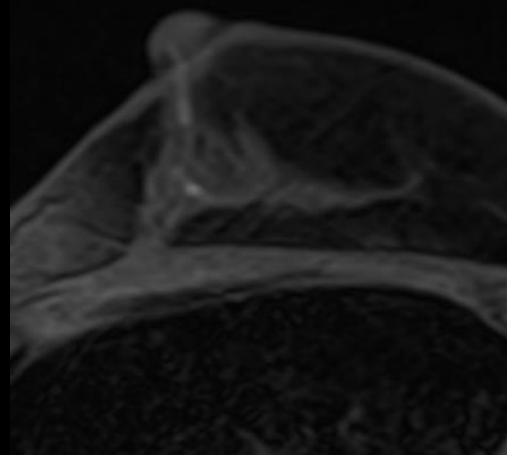
造影初期相サブトラクション



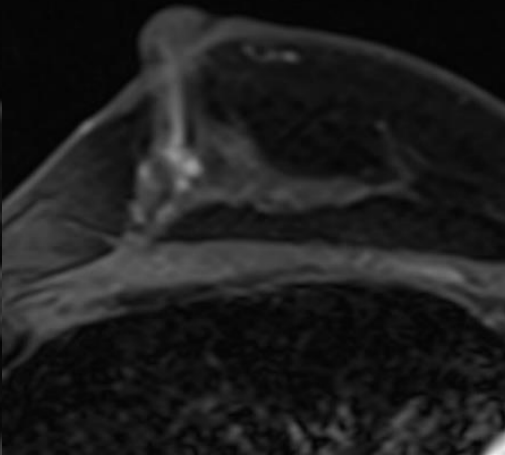
造影遅延相サブトラクション



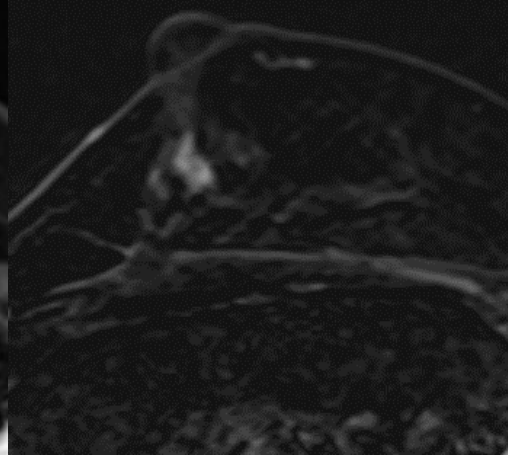
造影前



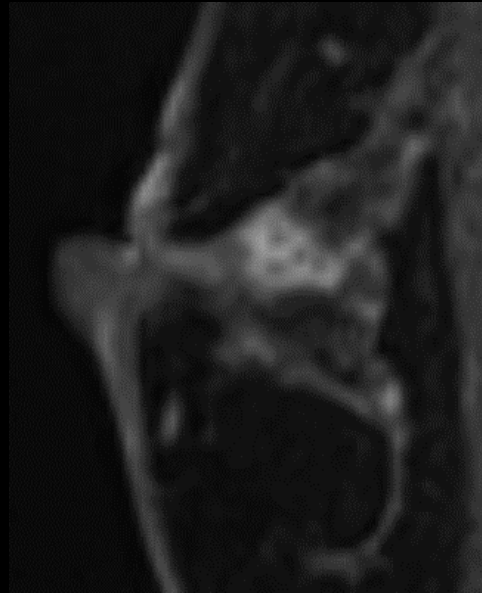
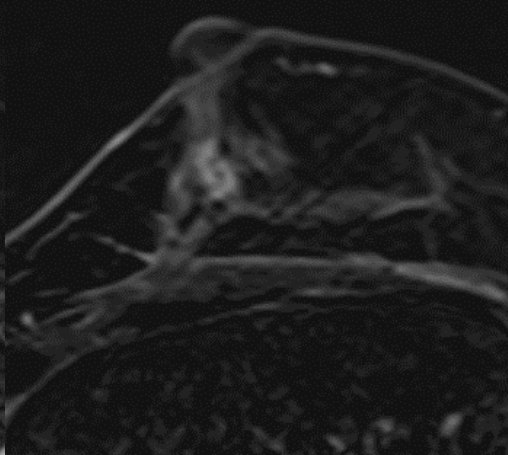
造影初期相



造影初期相サブトラクション



造影遅延相サブトラクション



造影後T1強調像
高解像度矢状断像

放射線治療終了 4年後
ダイナミック造影MRI

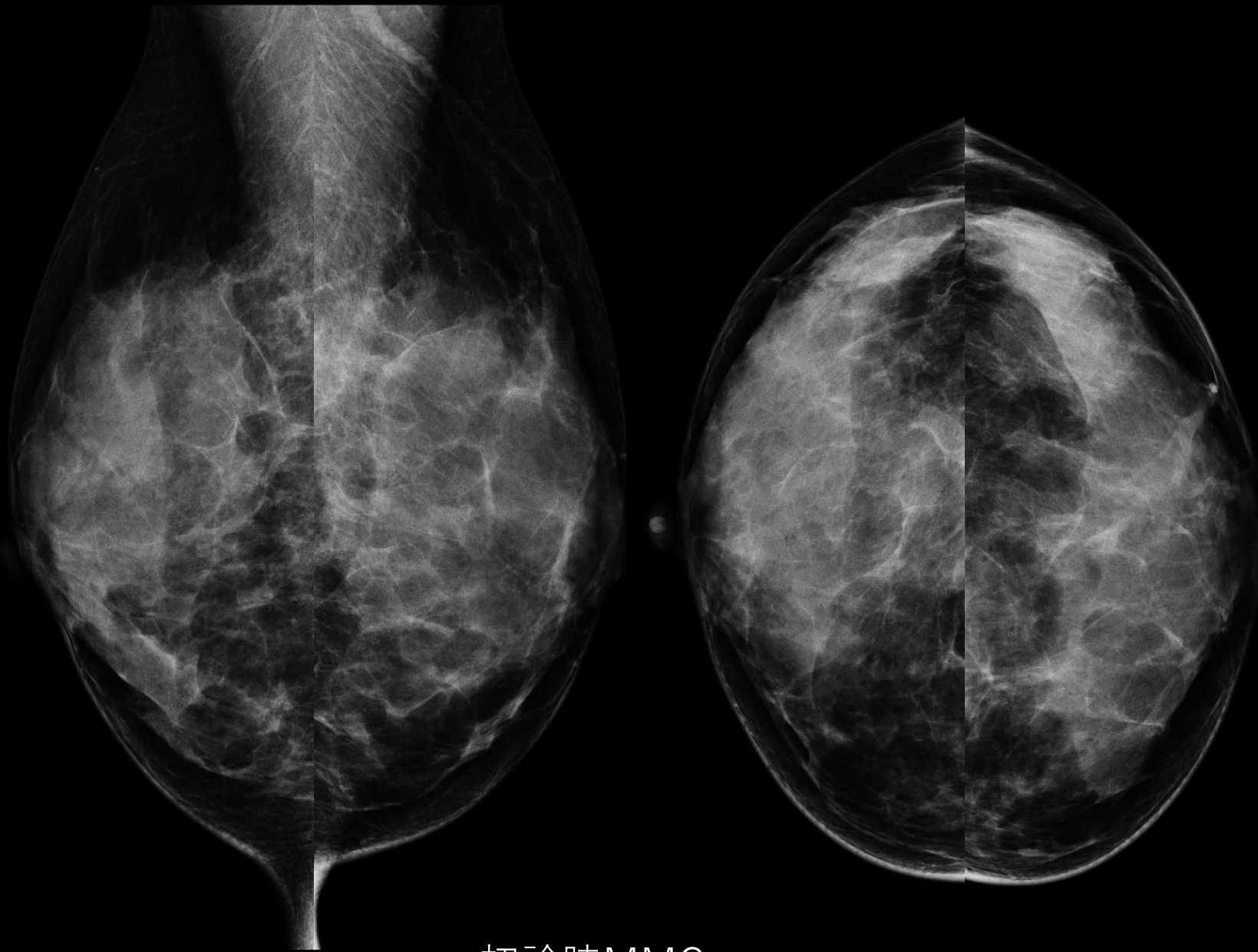
症例 2

- Q-4. ダイナミック造影MRIの画像所見および診断は？

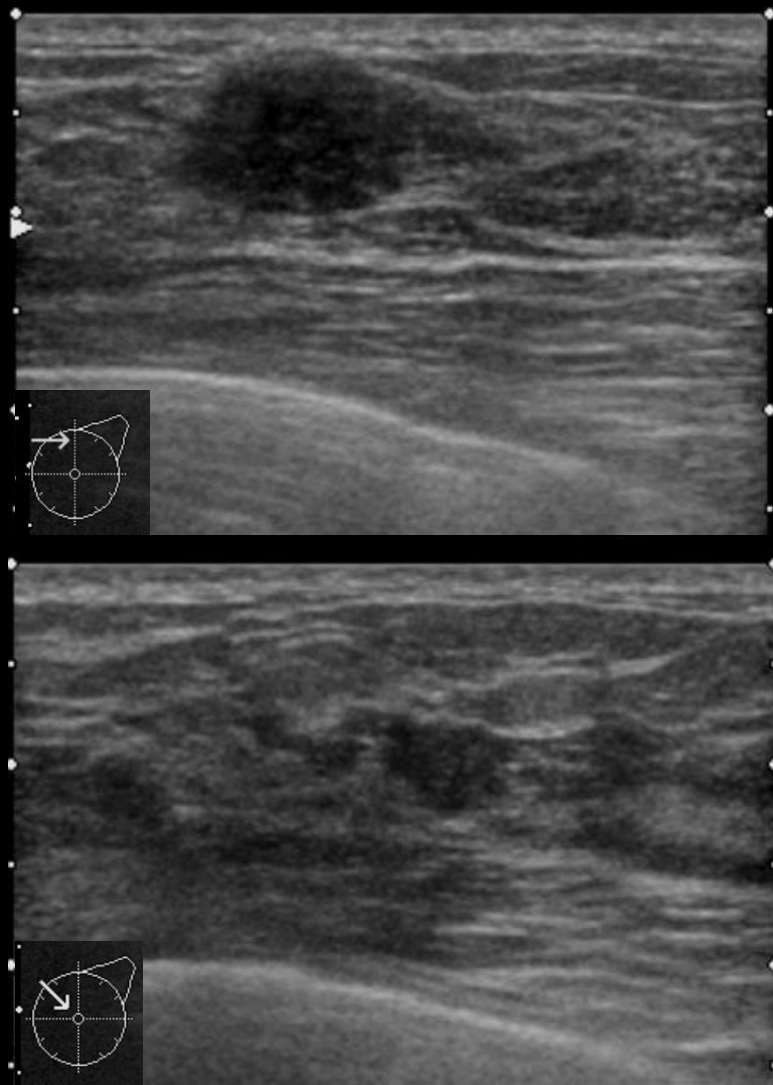
症例 3

症例 3

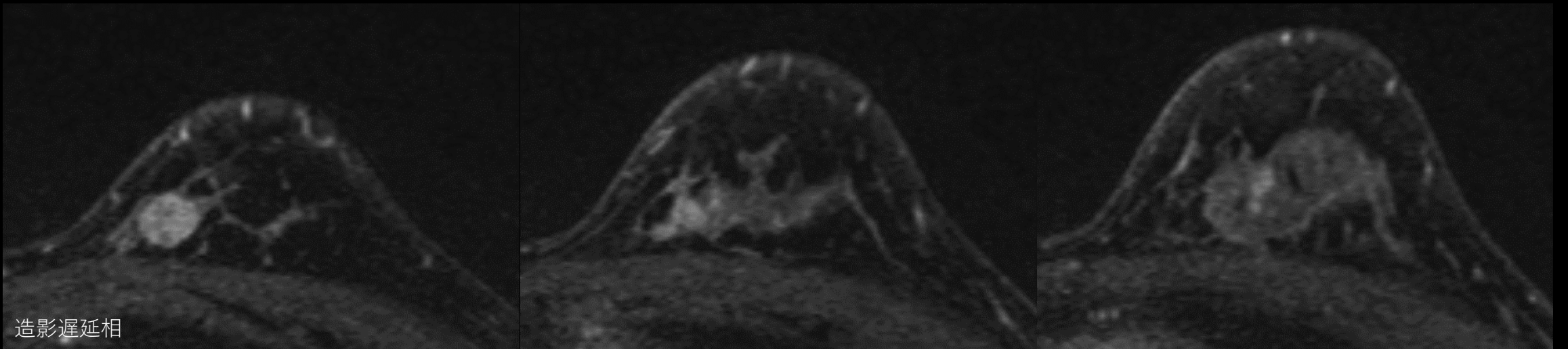
- 40歳代 女性
- 任意型検診のUS検査で左乳房の腫瘤を指摘され精査のため受診。
USガイド下マンントーム生検で乳癌と診断された。
- 家族歴：なし
- 既往歴：なし
- 視触診：左乳房A区域に弾性硬の腫瘤を触知



初診時MMG



初診時US



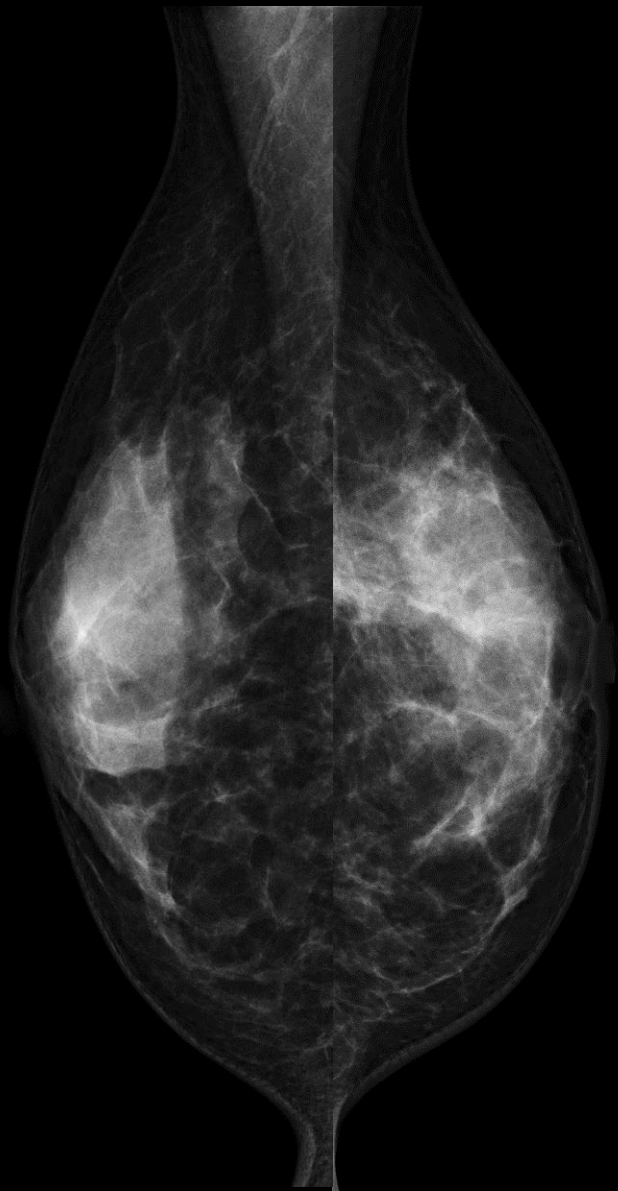
術前ダイナミック造影MRI

主腫瘍(矢印)以外にもFast-wash out 造影パターンを示す腫瘍(矢頭)が、左A区域内に数個認める: Multifocal disease

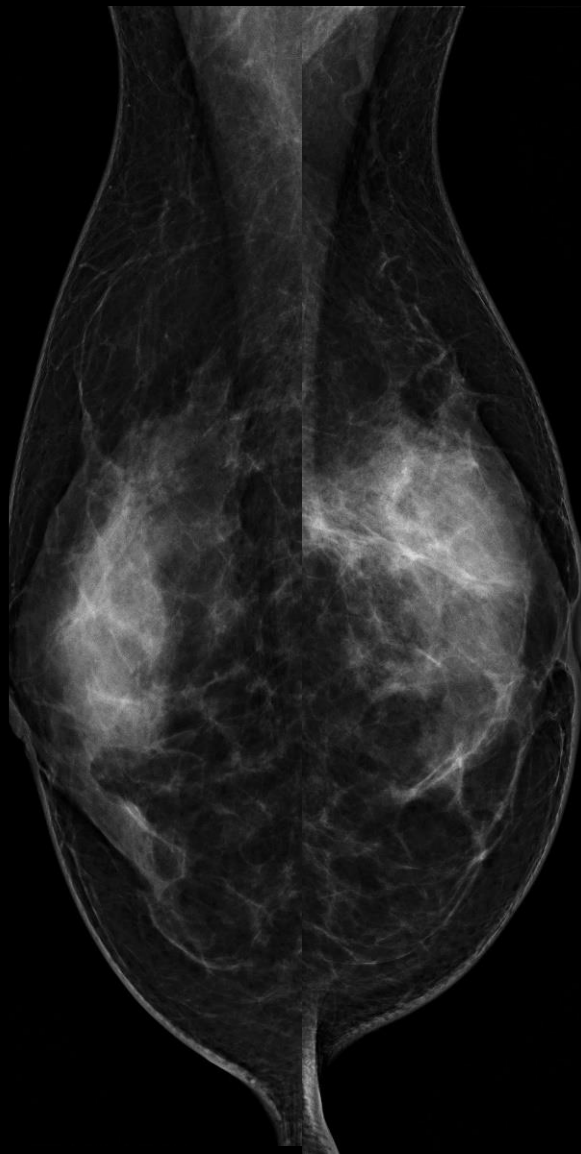
症例 3

- 左乳房部分切除術＋左腋窩センチネルリンパ節生検を施行
- 病理診断
 - 浸潤性乳管癌，充実型，浸潤径18mm，Ly0，V0，核グレード1，ER陽性，PgR陽性，Her2陰性，Ki67陽性率8%，センチネル0/1，pN0(sn)，断端陰性，乳頭側に15mmの浸潤病変，コメド壊死を伴った乳管内病変を認める
- 放射線療法施行
 - 全乳房照射
- 内分泌療法開始
- 放射線治療終了1年後からMMGとUSによる定期検査を開始

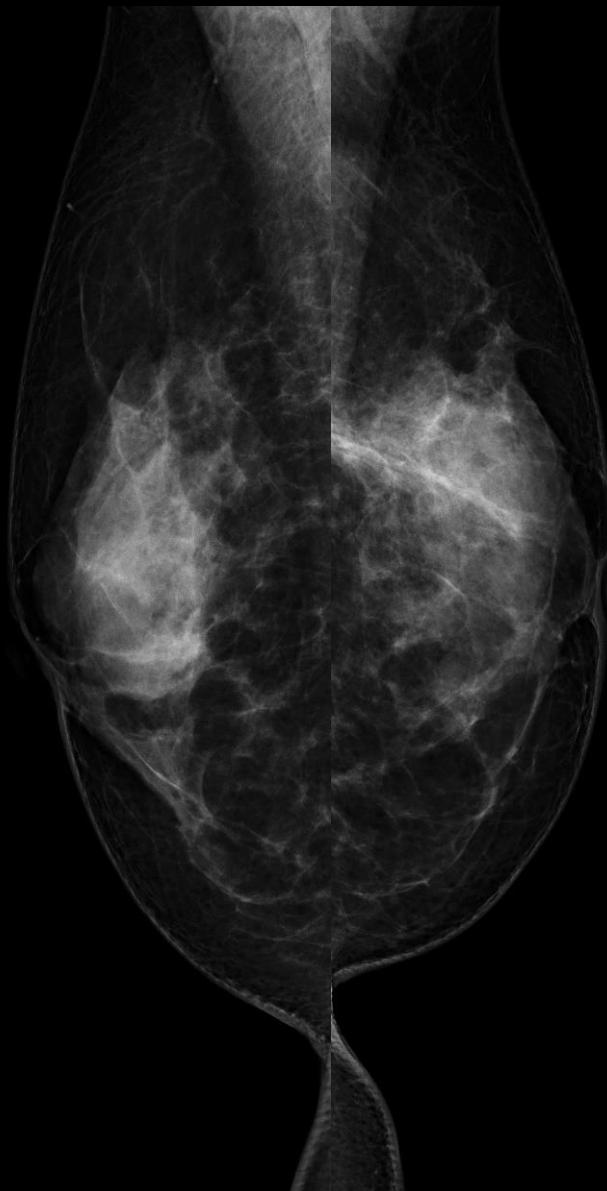
MMG MLO



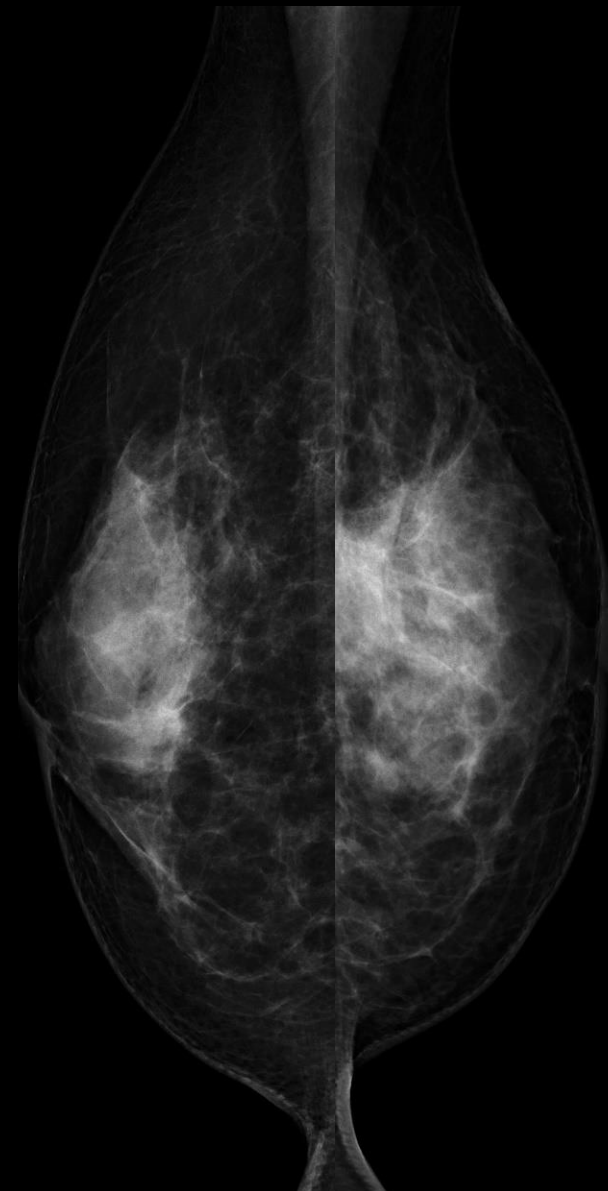
放射線治療終了 1年後



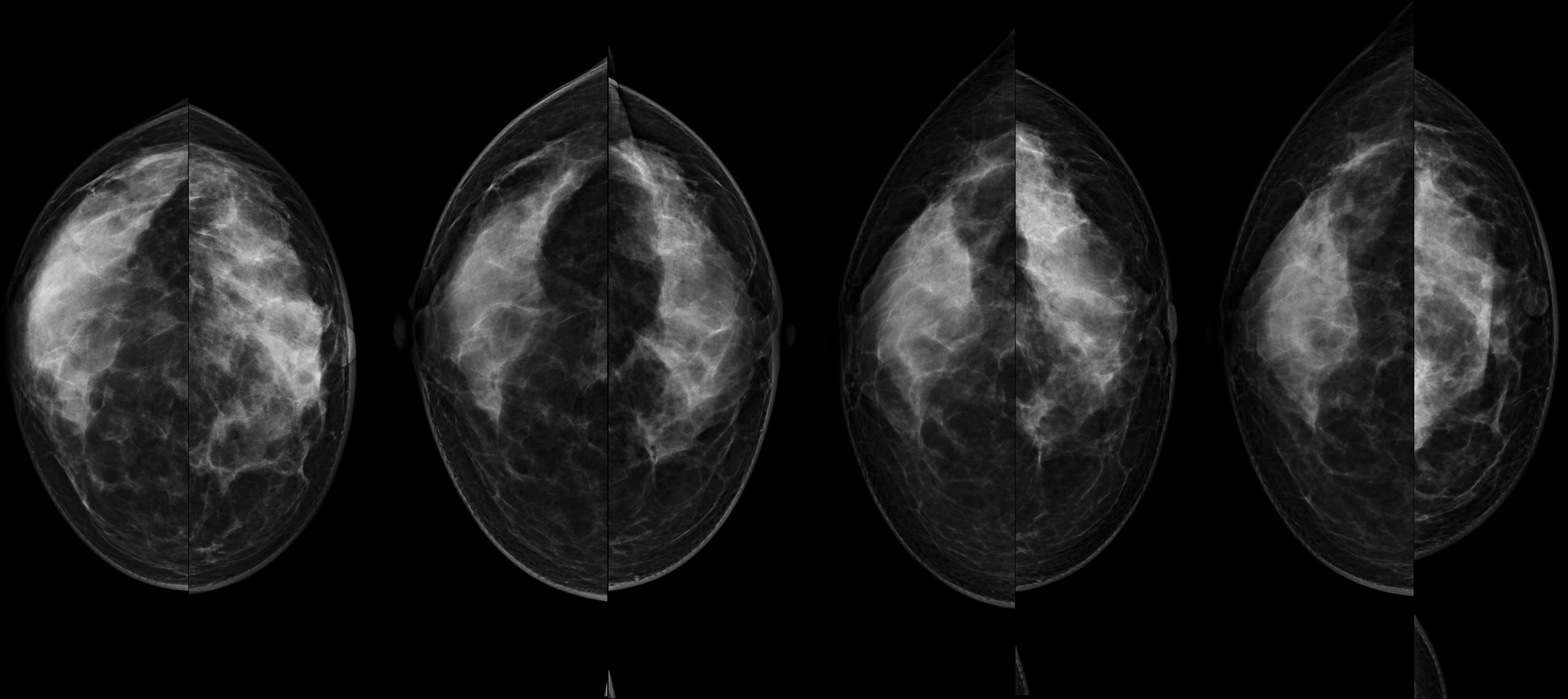
2年後



3年後



4年後



放射線治療終了 1年後

2年後

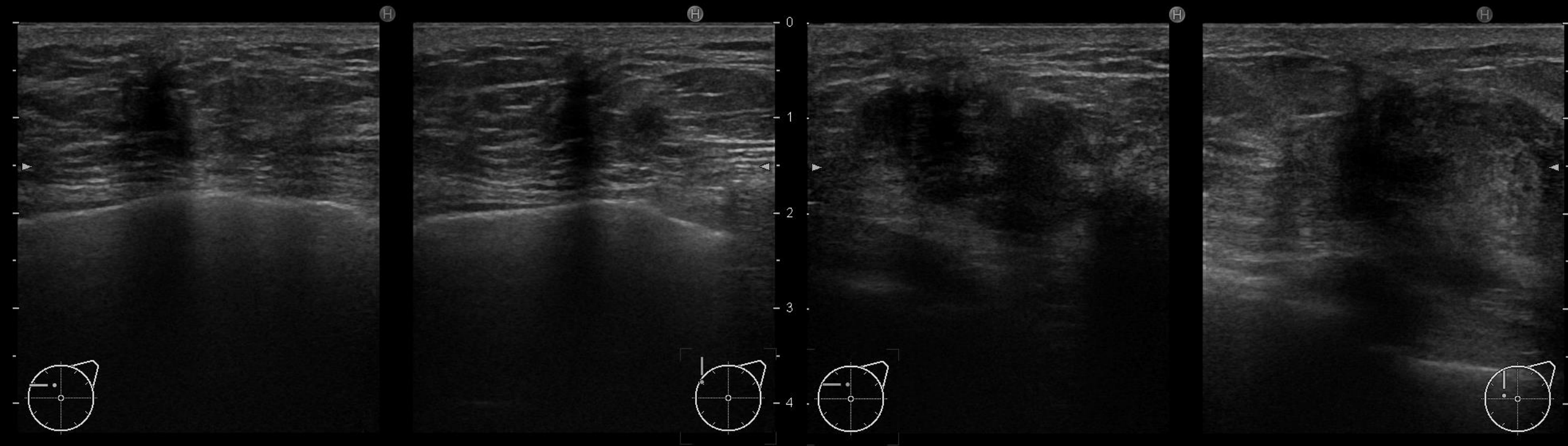
3年後

4年後

症例 3

- Q-1.術後1年毎に行われたMMGの画像所見は？

US



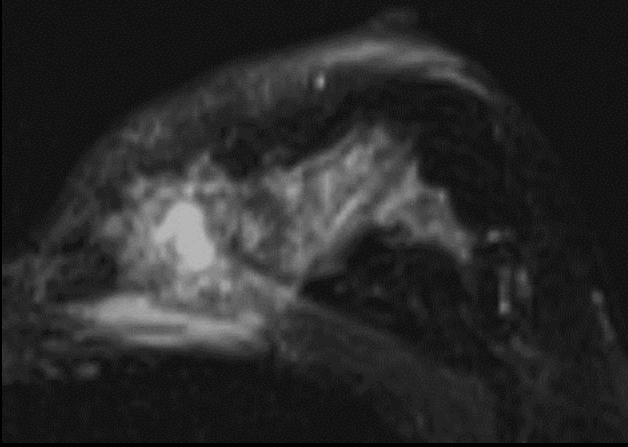
放射線治療終了 3年後

4年後

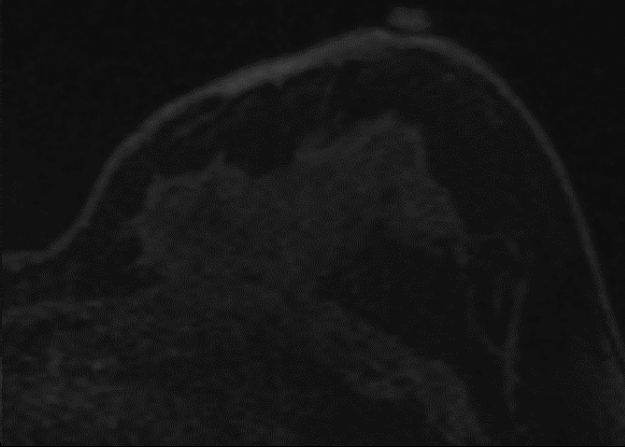
症例 3

- US下針生検施行
- ダイナミック造影MRI検査を施行

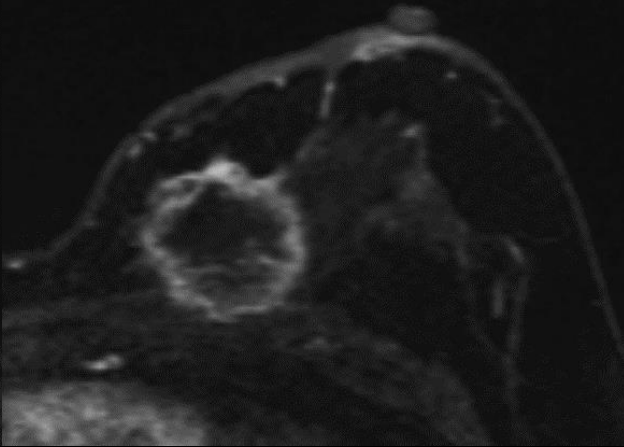
脂肪抑制併用T2強調像



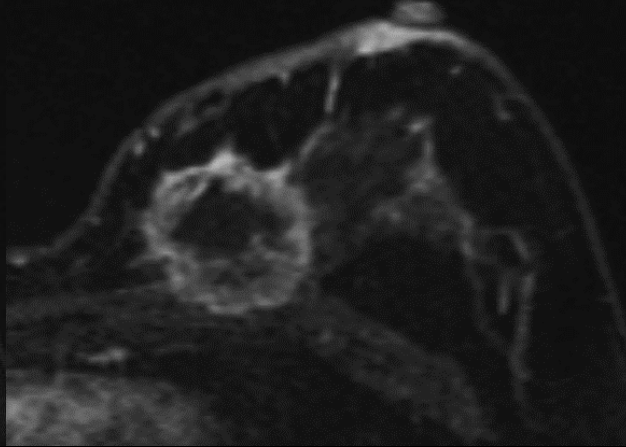
造影前



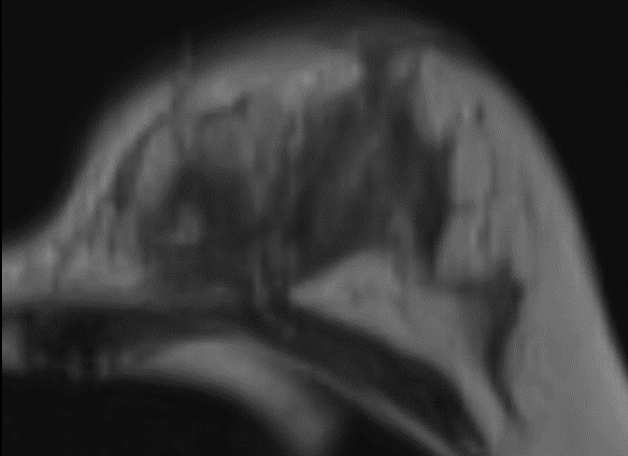
造影初期相



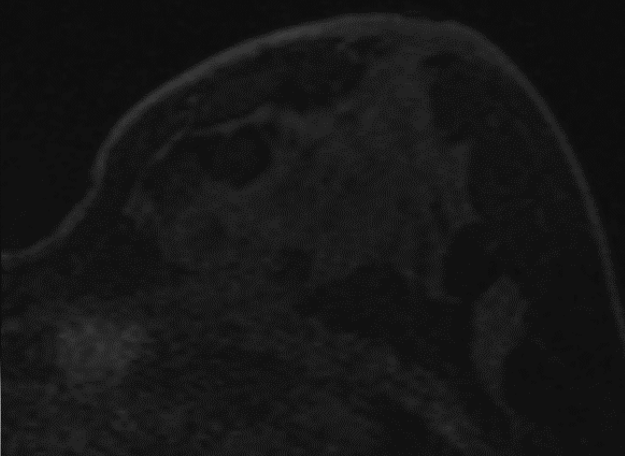
造影遲延相



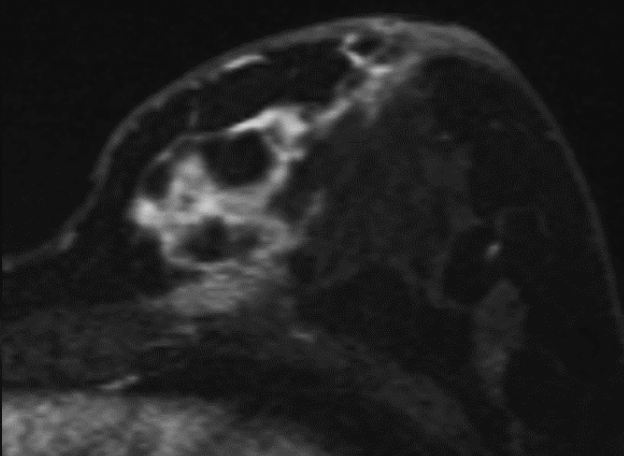
T2強調像



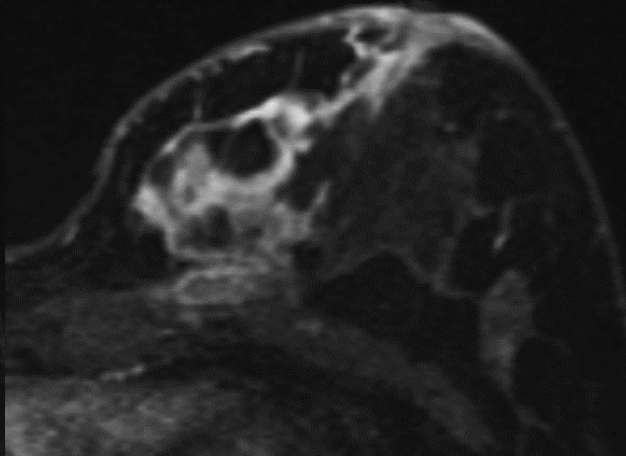
造影前



造影初期相



造影遲延相



放射線治療終了 4年後 MRI

症例 3

- Q-4. ダイナミック造影MRIの画像所見および診断は？